



Cisco Meeting Management

リリース 3.8

ビデオオペレータ向けユーザーガイド

2023年9月7日

目次

マニュアルの変更履歴	4
1 はじめに	5
2 Meeting Management 3.8 の新機能	6
2.1 3.7 以降のこのガイドの変更点	6
3 サインイン	7
4 ナビゲーション	9
4.1 概要 (Overview) ページ	9
4.2 上部バー	10
4.3 ナビゲーション パネル	10
4.4 会議 (Meetings) ページ	11
4.4.1 ビデオオペレータへのスペースの割り当て	12
4.5 会議の詳細 - 予定外の会議	13
4.6 会議の詳細 - 予定された会議	13
4.7 参加者の詳細	16
5 会議のモニタリングと管理	17
5.1 会議を探す	17
5.2 予定されている会議の編集	19
5.3 参加者を探す	19
5.4 参加者を特定のペインに配置する	20
5.4.1 制限事項	21
5.4.2 ペインの配置の設定方法	23
5.5 参加者を別の会議に移動する	26
5.6 会議ロビーを使用して会議をロックする	29
5.6.1 ロビーを使用して、招待された参加者がホストを待機できるようにする	29
5.6.2 会議のロック	30
5.6.3 参加者をロビーに移動する	31
5.6.4 参加者の承認	31
5.6.5 アクティベータが去った後はどうなりますか？	33

5.7 参加者の追加	33
5.7.1 参加者を追加するときに DTMF 番号を指定する	34
5.8 参加者の表示名を変更する	34
5.9 会議の参加者全員または選択した参加者のレイアウトを変更する	34
5.10 誰が話しているか、プレゼンテーションを行っているかを確認する	36
5.11 会議の参加者全員または選択した参加者の音声をミュートまたはミュート解除する	36
5.12 録画を開始および停止する	37
5.13 ストリーミングの開始と停止	37
5.14 新しい参加者が参加するときに強制的にミュートする	38
5.15 個々の参加者のオーディオまたはビデオをオンまたはオフにする	38
5.16 個々の参加者のレイアウトを変更する	39
5.17 参加者の詳細を表示する	39
5.18 コール統計	41
5.19 参加者の重要度の指定	42
5.20 会議の参加者のスナップショットを撮る	43
5.21 機能が無効になっている会議	46
5.21.1 デュアルホーム会議	46
5.21.2 リモート録画	49
6 会議イベントログ	50
6.1 イベントログのタイムスタンプ	50
6.2 イベントログメッセージ一覧	52
7 通知	61
7.1 すべての通知の表示	62
7.2 通知のリスト	62
8 ライセンス ステータス	66
アクセシビリティの注意事項	68
Cisco の法的情報	69
Cisco の商標	70

マニュアルの変更履歴

表 1 : マニュアルの変更履歴

日付	説明
2023- 09- 07	ドキュメントを公開。

1 はじめに

このガイドは、Cisco Meeting Management のビデオオペレータ向けに、会議のモニタリングと管理方法について説明しています。

Cisco Meeting Management は、シスコのオンプレミスのビデオ会議プラットフォーム Cisco Meeting Server 用の管理ツールです。Meeting Server で実行されている会議を使いやすいブラウザインターフェイスからモニタリングおよび管理できます。

2 Meeting Management 3.8 の新機能

これは、ビデオオペレータに関連する新機能と変更の概要です。すべての新機能と変更の概要については、リリースノートを参照してください。

2.1 3.7 以降のこのガイドの変更点

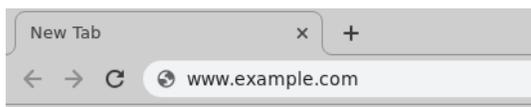
次のセクションを更新しました。

- ・ [「会議」ページ](#)：ビデオオペレータは、管理者によってタグ付けされたスペースで開催される会議に関連するタスクを実行する権限を持ちます。

3 サインイン

Meeting Management のアクセス方法は以下のとおりです。

1. ブラウザを開き、Meeting Management の Web アドレスを入力します。

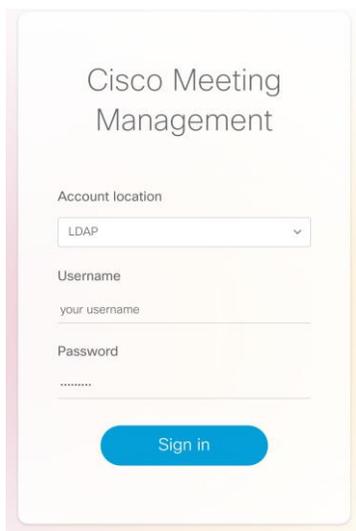


アドレスがわからない場合は、Meeting Management の管理者にお問い合わせください。

2. [アカウントのロケーション (Account location)] を選択します。

アカウントのロケーションがわからない場合は、Meeting Management の管理者にお問い合わせください。

3. 会社のユーザー名とパスワードを使用してサインインします。

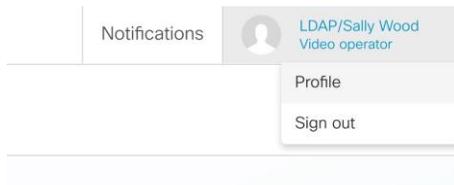
A screenshot of the Cisco Meeting Management sign-in page. The page has a light yellow background. At the top, it says 'Cisco Meeting Management'. Below that is a dropdown menu for 'Account location' with 'LDAP' selected. There are input fields for 'Username' (with placeholder text 'your username') and 'Password' (with placeholder text '.....'). At the bottom is a blue 'Sign in' button.

サインインに問題がある場合は、Meeting Management の管理者にアカウントの詳細を確認するよう依頼してください。

注：最大 24 時間サインインしたままにすることができ、その後は自動的にサインアウトされます。誰かが Meeting Management を再起動した場合、または管理者が許可したよりも長い間非アクティブな場合、サインアウトされます。ブラウザによっては、ブラウザを閉じるとサインアウトする場合があります。

サインアウトする方法は以下のとおりです。

1. 自分の名前をクリックし、[サインアウト (Sign out)] します。



4 ナビゲーション

Meeting Management のさまざまなビューのクイックウォークスルーを次に示します。

- ・ [概要 \(Overview\) ページ](#)
- ・ [上部バー](#)
- ・ [ナビゲーション パネル](#)
- ・ [会議 \(Meetings\) ページ](#)
- ・ [予定外の会議の会議の詳細](#)
- ・ [予定された会議の会議の詳細](#)
- ・ [参加者の詳細](#)

4.1 概要 (Overview) ページ

サインインすると最初に表示されるのは **[概要 (Overview)]** ページです。

システム全体に問題がある場合は、ここに[通知](#)が表示されます。

通知には、3 段階のシビラティ (重大度) があります。

- ・ **エラー (Error)** : 重大レベルの問題
- ・ **警告 (Warning)** : Meeting Management の実行を継続するために対処する必要がある問題
- ・ **情報 (Information)** : 有用な情報または軽微な問題

サインインしている Meeting Management のインスタンスでライセンスが有効になっている場合は、Cisco Meeting Server の[ライセンスステータス](#)も表示されます。

スマート ライセンスを使用している場合、接続されているすべてのクラスタは1つのアカウントでライセンスを共有し、Meeting Management はすべてのクラスタに対して1つのライセンスステータスを表示します。

4.2 上部バー

トップバーはすべてのビューで表示されます。

上部のバーには、名前と役割が表示されます。通知がある場合は、通知の数がここに表示されます。すべての通知を表示するには、**[通知 (Notifications)]** をクリックします。サインアウトするには、自分の名前をクリックしてから **[サインアウト (Sign out)]** をクリックします。重大または緊急の問題については、トップバーの上に追加の通知バナーが表示されます。

4.3 ナビゲーションパネル

左側のナビゲーションパネルはすべてのビューに表示され、**[概要 (Overview)]** と **[会議 (Meetings)]** ページにアクセスできるほか、Cisco Web サイトの Meeting Management ヘルプへのリンクが掲載されています。

下部の番号はソフトウェアのバージョン番号であり、管理者にのみ関係します。



4.4 会議 (Meetings) ページ

[会議 (Meetings)] ページには、すべてのアクティブな会議と、今後 24 時間以内に開始される予定のすべての今後の会議のリストが表示されます。終了フィルタを使用すると、過去 7 日以内に終了した会議を表示できます。

 A screenshot of the Cisco Meeting Management web interface. The page title is 'Meetings'. It features a search bar, filter buttons for 'Type' (Scheduled, Unscheduled) and 'Status' (Active, Upcoming, Ended), and a 'Clear filters' button. Below the filters, it shows 'Showing 6 of 6 meetings' and a link for 'Sync scheduled meetings'. A table lists the meetings with columns for Meeting title, Owner, Participants, Activity, Start time, End time, and Duration.

Meeting title	Owner	Participants	Activity	Start time	End time	Duration
Weekly Team Update	Sandra Ty	5		23/10/2020 21:09		01:01:36
Marketing review		2		23/10/2020 21:38		00:32:43
Weekly team update		3		23/10/2020 21:47		00:23:52
Sales EMEAR		3		23/10/2020 21:56		00:15:01
Q4 review		3		23/10/2020 22:06		00:05:25
Product Roundup	Lewis Hill			24/10/2020 20:00	24/10/2020 20:30	

次の表は、列に表示される内容を説明しています。

会議のタイトル (Meeting title)	会議が行われるスペースの名前。スペースに名前がない場合、会議は「無名の会議」としてリストされ、一意の英数字 ID が括弧内に表示されます。
所有者 (Owner)	所有者がいるスペースで会議が行われる場合、このフィールドには所有者の名前または一意のユーザー ID が表示されます。 会議のスケジュールに TMS を使用している場合は、会議を予約するときに、TMS で会議の所有者を定義できます。
参加者 (Participants)	会議に参加している参加者の人数。Meeting Management バージョン 2.8 以降、この数にはロビー参加者が含まれなくなりました。 参加者がロビーで待機している場合は、番号の横に参加者アイコンが表示されます。クリックすると、ロビーに何人の参加者がいるかを確認できます。
アクティビティ (Activity)	このフィールドは、会議が現在ストリーミングまたは録画されているかどうかを示します。
開始時刻 (Start time)	最初の参加者が参加した時刻、または TMS が会議を開始した時刻。 また、開始時刻がグレー表示になっている場合は、開始予定時刻です。
終了時刻 (End time)	会議が終了した時刻、または予定された終了時刻（グレー表示されている場合）。 TMS を使用して会議をスケジュールしていて、スケジュールされた時間より前に会議が終了した場合、TMS は会議の再開を試みる場合があります。この場合、終了時刻は、参加者が会議を終了することを決定した時刻とは異なります。
時間 (Duration)	会議の経過時間。

注：

- スケジュールされた会議がスケジュールされた終了時刻を過ぎてアクティブになっているときに、Meeting Management が再開された場合、スケジュールされていない会議として表示されます。
- TMS を使用して会議をスケジュールしていて、TMS が Meeting Management に接続されていない場合、すべての会議がスケジュールされていないように表示され、Meeting Management の開始時刻と終了時刻が TMS に表示されるスケジュール時刻と異なる場合があります。

参照：

[会議を探す](#)

4.4.1 ビデオオペレータへのスペースの割り当て

3.8 以降、ビデオオペレータは、管理者によって割り当てられたスペースにアクセスできます。タグ付けされたスペースで開催された会議を管理およびモニタリングできます。

4.5 会議の詳細 - 予定外の会議

[会議 (Meetings)] ページで会議のタイトルをクリックすると、その会議の詳細が表示されます。

The screenshot shows the Cisco Meeting Management interface for a meeting titled "Weekly Team Update". The meeting is owned by Brian Novak and started on 23/10/2020 at 21:41. The duration is 00:30:37, and the lobby is empty. The toolbar includes icons for pane placement, moving participants, adding participants, moving to lobby, setting layout for all, muting all, unmuting all, clearing all importance, recording, streaming, muting on entry, locking, event logs, and ending the meeting. The activity section shows filters for Important, Speaking, Status, Connected, Moved, and Disconnected. Below, a table lists 5 participants: James Reeves, Allie Dawson, Brian Novak, Ben Dawkins, and John Smith, each with their join and leave times and a set of action icons.

次の表は、列に表示される内容を説明しています。

参加者名 (Participant name)	参加者の名前。ビデオシステムを備えた会議室も、参加者としてリストに表示されます。
参加時刻 (Join time)	参加者が会議に参加した時刻。
退席時刻 (Leave time)	参加者が会議から退席した時刻。
アクション (Actions)	オーディオ/ビデオ、通話、または参加者のドロップの制御を可能にするコール制御。会議でサポートされている場合は、参加者を「重要」に設定または「重要度をクリア」することもできます。

注：会議がデュアルホームの場合、一部の機能は無効になります。

4.6 会議の詳細 - 予定された会議

The screenshot shows the Cisco Meeting Management interface for a meeting titled "Project Review". The meeting is owned by Brian Novak and started on 23/10/2020 at 21:41. The duration is 00:33:40, and the lobby is empty. The toolbar includes icons for pane placement, moving participants, adding participants, moving to lobby, setting layout for all, muting all, unmuting all, clearing all importance, recording, streaming, muting on entry, locking, event logs, and ending the meeting. The activity section shows filters for Important, Speaking, Status, Connected, Moved, and Disconnected. Below, a table lists 5 participants: James Reeves, Allie Dawson, Brian Novak, Ben Dawkins, and John Smith, each with their join and leave times and a set of action icons.

スケジュールされた会議の [会議の詳細 (Meeting details)] ページには、[会議を終了 (End meeting)] ボタンがありません。ただし、TMS で会議の編集ページに移動する [TMS で編集 (Edit in TMS)] ボタンがあります。

注：[TMS で編集 (Edit in TMS)] ボタンはハイパーリンクとして機能します。ボタンを右クリックすると、新しいタブで開いたり、リンクをコピーして別のブラウザに貼り付けたりすることができます。

以下の表は、会議の詳細ページの上部に表示されるアイコンについて説明しています。

ペインの配置 (Pane placement)	接続中の参加者をアクティブな会議の特定のペインに配置します
参加者の移動 (Move participants)	アクティブな会議で、1人以上の参加者を選択して別の会議に移動します
参加者の追加 (Add participants)	新しい参加者を追加するか、切断された参加者にコールバックします
ロビーに移動 (Move to lobby)	ロックされた会議で、特定の参加者またはすべての参加者をロビーに移動します
すべてのレイアウトを設定 (Set layout for all)	すべての参加者のビデオ レイアウトを変更します
すべてミュート (Mute all)	会議の参加者全員または選択した参加者の音声をミュートする
すべてミュート解除 (Unmute all)	会議のすべての参加者または選択した参加者の音声のミュートを解除する
重要度をすべて解除 (Clear all importance)	すべての参加者の重要度を解除します
録画 (Recording)	Meeting Server でレコーダーが設定されている場合は、会議の録画を開始するか、進行中の録画を停止します
ストリーミング (Streaming)	会議にストリーミング URI が設定された Meeting Server でストリーミングが設定されている場合、ストリーミングを開始または停止します
参加時のミュート (Mute on entry)	新しい参加者が参加するときに、強制的にミュートにします
ロック (Lock)	会議をロックして、一部またはすべての参加者がアクティブな会議に参加できないようにします
イベント ログ (Event logs)	イベント ログは、会議で起こったことのタイムラインを提供します
TMS で編集 (Edit in TMS)	TMS の会議の編集ページに移動します。

チェックボックスを使用して、会議に参加した参加者を手動で追跡できます。チェック マークを表示できるのはオペレータだけです。チェック マークは、サインインしている間のみ保存されます。

次の表は、会議の参加者に対して表示されるアイコンについて説明しています。

音声のミュート (Mute audio)	会議で選択した参加者の音声をミュートします
ビデオを停止 (Stop video)	会議の選択した参加者のビデオを停止します
重要にして上にピン留め する (Make important and pin to top)	参加者は、青い星で重要としてマークされ、参加者リストの上部に固定されます
ロビーに移動 (Move to lobby)	ロックされた会議で、特定の参加者またはすべての参加者をロビーに移動します
SMSの送信 (Send DTMF)	特定の参加者に DTMF キーを送信します
スナップショット (Snapshot)	会議で選択した参加者のスナップショットを撮ります
ロビーに移動 (Move to lobby)	ロックされた会議で、特定の参加者をロビーに移動します
ドロップ (Drop)	参加者を会議から外します

注：チェックリストの参加者名は TMS でスケジュールされたとおりに表示され、リストは、会議がアクティブなときに Meeting Server から受信した参加者名に合わせて更新されません。

たとえば、同じ参加者を、Meeting Server に登録されている名前とは異なる名前でも TMS に登録したり、参加者がスケジュールされたものとは異なるビデオエンドポイントから会議に参加することを選択したりできます。

4.7 参加者の詳細

会議の詳細で参加者を選択すると、通話情報と個別の通話コントロールを含むサイド パネルが開きます。スクロールし、コール統計を確認します。

次の表は、上部の列に表示される内容を説明しています。

参加時刻 (Join time)	この参加者が会議に参加した時刻。参加者が切断されてから再び参加した場合、これは参加者が再び参加した時間になります。
暗号化 (Encryption)	フル (Full) : すべての接続が暗号化されます。 混合 (Mixed) : 一部の接続は暗号化されています。 なし (None) : 接続は暗号化されません。
コールタイプ (Call Type)	SIP : 参加者は、SIP または TIP プロトコルを使用するビデオ システムを使用しています。 Web アプリ : 参加者は Web アプリを使用しています。 Lync : 参加者は Lync または Skype for Business を使用しています。
CMS	この参加者の通話をホストする Call Bridge
方向 (Direction)	Meeting Server から見た、呼び出しが行われた方向

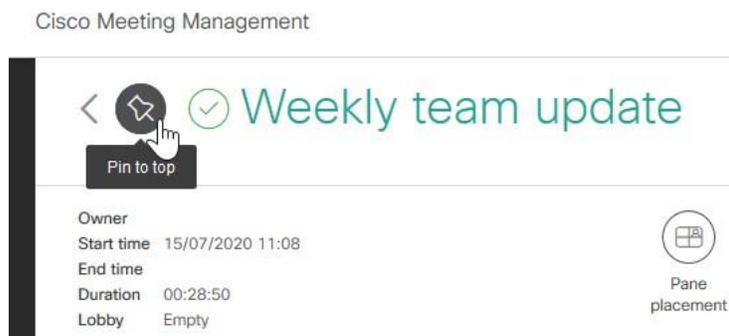
5 会議のモニタリングと管理

ビデオオペレータは、Cisco Meeting Server で実行される会議をモニタリングおよび管理できます。

5.1 会議を探す

多くの会議をモニタリングしている場合の、関連する会議を見つけるのに役立つコツをいくつか紹介します。

- ・ リストの一番上、リストビューから、またはピン留めする会議の詳細から会議をピン留めします。



ピン留めされた会議は、ピン留めを解除するか、サインアウトするまで、一番上に表示されます。

- ・ スケジュールされた会議またはスケジュールされていない会議を表示するためにフィルタリングするか、特定のステータスを持つ会議を表示するためにフィルタリングします。



デフォルトでは、[会議 (Meetings)] ページに入ると、[アクティブ (Active)] な会議と[今後 (Upcoming)] の会議のフィルタが選択されます。

- ・ 5 分以内にスケジュールされた会議を探している場合は、スケジュールされた会議を同期します。Meeting Management は 5 分ごとに TMS と自動的に同期しますが、スケジュールされた特定の会議を検索する場合は、同期を手動で開始できます。

注：同期が開始されるとメッセージが表示されますが、Meeting Management は同期が終了したことを通知せず、どの会議が Meeting Management のビューに追加されたかを強調表示しません。

- ・ [列で並べ替え (Sort by column)] を使用すると、選択した列で昇順または降順に会議を並べ替えることができます。

Showing 6 of 6 meetings [Sync scheduled meetings](#)

Meeting title	Owner	Participants	Activity	Start time	End time	Duration
Product Roundup	Lewis Hill			16/07/2020 09:00	16/07/2020 09:30	
Weekly Team Update	Sandra Ty	5		15/07/2020 10:31		01:02:46

- ・ [複数の列で並べ替え (Sort by multiple columns)] を使用すると、会議を複数の列で昇順または降順に並べ替えることができます。

1 つの列で並べ替えてから、Shift キーを押しながら別の列をクリックして並べ替えを調整します。たとえば、[会議のタイトル (Meeting title)] 列をクリックしてから、Shift キーを押しながら [参加者 (Participants)] 列をクリックします。次に、すべての会議が「会議のタイトル」のアルファベット順に並べ替えられ、同じタイトルの会議が会議の参加者の人数によって並べ替えられます。

下のスクリーンショットでは、会議が会議のタイトル (Z → A) でソートされ、さらに参加者数 (最小 → 最大) でソートされていることがわかります。

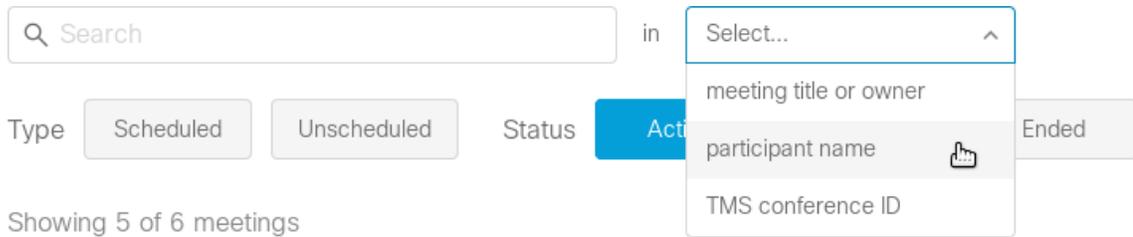
Meeting title	Owner	Participants	Activity	Start time	End time	Duration
Weekly team update		3		23/10/2020 21:47		00:24:02
Weekly Team Update	Sandra Ty	5		23/10/2020 21:09		01:01:46
Sales EMEAR		3		23/10/2020 21:56		00:15:11
Q4 review		3		23/10/2020 22:06		00:05:35
Product Roundup	Lewis Hill			24/10/2020 20:00	24/10/2020 20:30	
Marketing review		2		23/10/2020 21:38		00:32:53

このビューを終了するまで、会議は選択された状態でソートされたままになります。デフォルトでは、[会議 (Meetings)] ページに入ると、会議は開始時刻の昇順で並べ替えられます。

- ・ [会議の検索 (Search for meetings)] を特定のタイトル、所有者、参加者、または TMS 会議 ID から実施します。

すべての検索結果は、会議のタイトルごとに一覧表示されます。入力を開始すると、検索条件に一致するアイテムを含む会議が Meeting Management に一覧表示されますが、参加者名または TMS 会議 ID は表示されません。

「会議のタイトル」にカーソルを合わせると、TMS 会議 ID が表示されます。検索した参加者を表示するには、会議の詳細を開いて確認する必要があります。



5.2 予定されている会議の編集

TMS でスケジュールされたすべての予定されている会議は、開始の 24 時間前までに Meeting Management に表示されます。スケジュールされた会議に変更を加える必要がある場合は、**[TMS で編集 (Edit in TMS)]** をクリックして TMS で会議にアクセスし、そこで詳細を編集します。

5.3 参加者を探す

大規模な会議をモニタリングしている場合の、個々の参加者を見つける方法のコツをいくつか紹介します。

- ・ **参加者をピン留め**  アイコンを各参加者に対して使用すると、選択した参加者をリストの上部に固定できます。

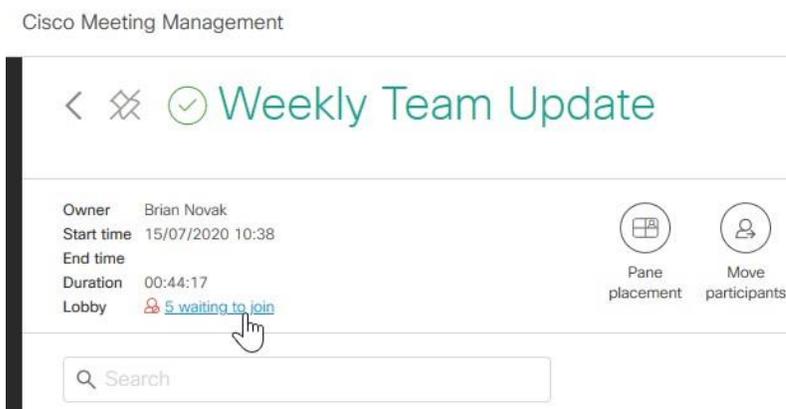
ピン留めされた参加者は、ピン留めを解除するか、サインアウトするまで、一番上に表示されます。

- ・ **重要な参加者、発言中の参加者、または特定の接続ステータスを持つ参加者を [フィルタ (Filter)] して表示します。**

Activity Status [Clear filters](#)

注：ペインの配置がオンの場合、[重要 (Important)] フィルタは [ペインに配置 (Placed in pane)] フィルタに置き換えられます。

- ・ ゲストプロフィールを持つ参加者を探している場合は、左上隅の [ロビー (Lobby)] を確認してください。会議にまだ参加していないゲストがここに表示されます。



- ・ [列で並べ替え (Sort by column)] を使用すると、選択した列で昇順または降順に参加者を並べ替えることができます。
- ・ [複数の列で並べ替え (Sort by multiple columns)] を使用すると、参加者を複数の列で昇順または降順に並べ替えることができます。

1つの列で並べ替えてから、Shift キーを押しながら別の列をクリックして並べ替えを調整します。たとえば、[参加時刻 (Join time)] 列をクリックしてから、Shift キーを押しながら [参加者名 (Participant name)] 列をクリックします。次に、すべての参加者が参加時間順に並べ替えられ、同じ時間に参加したすべての参加者がアルファベット順に並べ替えられます。

下のスクリーンショットでは、参加者が参加時間でソートされ、さらに名前でもソートされていることがわかります (A → Z)。

このビューを終了するまで、参加者は選択された状態でソートされたままになります。デフォルトでは、参加者は主に接続ステータス (接続された参加者が一番上) で並べ替えられ、次に会議に参加した時間 (最後に参加した参加者が一番上) で並べ替えられます。

- ・ [検索 (Search)] では、会議の参加者を検索できます。

注：会議に接続している参加者のみが表示されます。参加しなかったスペース メンバーまたは招待された参加者は表示されません。

特定の参加者を探しているが、その人が参加した会議がわからない場合は、[会議 (Meetings)] ページにリストされているすべての会議を検索できます。

5.4 参加者を特定のペインに配置する

アクティブな会議では、接続している参加者を特定のペインに配置して、発言していないときでも、常に画面の特定の場所に表示されるようにすることができます。

重要性と同様に、ウィンドウの配置は、主催者、CEO、招待されたスピーカーなど、常に表示したい会議に参加している人がいる場合に役立ちます。話している人に応じて、それらの人々の立場を変えたい場合は、重要度を使用します。画面上の固定位置にペインを配置する場合は、ペインの配置を使用します。ペインの配置は、カスタムおよび標準のレイアウトに適用できます。

すべての参加者がシングル スクリーン エンドポイントを使用する SIP 参加者である場合、および選択したレイアウトのすべてのペインがペイン配置用に予約されているか、アクティブな参加者によって占有されている場合に、参加者に表示される内容を制御できます。他のすべてのシナリオには**制限事項**があります。

5.4.1 制限事項

いくつかの一般的な制限があります。

- ・ ペインの配置は、SIP および Web アプリケーションの参加者に対してのみ機能します。SIP および Web アプリの参加者にのみペインを割り当てることができ、構成したレイアウトとペインの配置を表示できるのはその参加者のみです。

Meeting Management では Skype for Business のレイアウトを制御できないため、ペインの配置は Skype for Business の参加者に対して機能しません。
- ・ ペインの配置は、会議の開始後にのみ設定でき、アクティブな参加者のみをペインに割り当てることができます。配置された参加者が会議から切断されると、そのペインは割り当てられなくなります。

これは、それらに割り当てられたペインが空白のペインとして表示されることを意味します。配置された参加者を再接続後に同じペインに配置する場合は、再度追加する必要があります。
- ・ 参加者ごとにペインの配置を設定することはできません。ペインの配置を設定すると、会議のすべての SIP および Web アプリの参加者に表示される内容に影響します。

個々の参加者にのみ表示されるペインの配置設定を選択することはできません。
- ・ 選択したレイアウトは、後で参加する参加者ではなく、現在会議でアクティブなすべての参加者にのみ適用されます。また、個々の参加者は、必要な権限があれば、後でレイアウトを変更できます。

異なるレイアウトを選択した参加者には、定義した位置とは別の位置に配置された参加者が表示されます。

新しい参加者に同じレイアウトを適用するには、[ペインの配置 (Pane placement)] ボタンをクリックし、変更を加えずに保存します。
- ・ ペインの配置がオンになっている場合、重要度は無効になっています。ペインの配置を設定すると、Meeting Management はすべての重要度をクリアします。
- ・ ペインの配置は、ゲートウェイコールまたはデュアルホームコールでは機能しません。デュアルホームでの会議中、[ペインの配置 (Pane placement)] ボタンは無効になりますが、ゲートウェイコールに対する警告は表示されません。

- ・ 会議が複数の Call Bridge でホストされている場合、一部の参加者には、配置された参加者のビデオではなく空白のペインが表示されます。参加者が異なる Call Bridge でホストされている場合、1 つの Call Bridge でホストされている配置された参加者のうち最大 4 人が、別の Call Bridge でホストされている参加者に表示されます。配置された残りの参加者のビデオは、空白のペインに置き換えられます。

参加者が別の Call Bridge でホストされているかどうかを確認するには、参加者の詳細にリストされている別の CMS があるかどうかを確認します。

- ・ Meeting Management は、範囲外のペイン番号、またはペインごとに複数の参加者をサポートしていません。

ペインの配置が Meeting Server API (アプリケーション プログラミング インターフェイス) またはサードパーティツールを使用して設定されている場合、次のような Meeting Management でサポートされていない設定がある可能性があります。

- ・ 参加者のペイン番号が、予約されたペインの数で定義された範囲外です。
- ・ 同じペインに複数の参加者が割り当てられています。次の警告が表示されます。

「Meeting Management でサポートされていないツールを使用してペインの配置が設定されました」

これは、Meeting Management はこれらの設定を表示できないことを表しています。[ペインの配置を設定 (Set pane placement)] をクリックすると、Meeting Management はダイアログに表示されている設定で設定を上書きします。

- ・ Meeting Management は、選択された会議のレイアウトを常に決定できるとは限りません。

レイアウト設定に関する情報は一時的にのみ保存されるため、Meeting Management はペインの配置に使用されているレイアウトを常に特定できるとは限りません。その場合、次の警告が表示されます。

「会議のレイアウトを決定できません。プレビューを表示するにはレイアウトを選択してください。」

- ・ スペースに設定されている場合、Meeting Management はペインの配置をオフにすることはできません。

ペインの配置が Meeting Server API (アプリケーション プログラミング インターフェイス) を使用して設定されている場合、アクティブな会議ではなくスペースに設定される可能性があります。

スペースのペイン配置がオンになっている場合にオフにしようとする、Meeting Management で [ペイン配置をオフにする (Turn pane placement off)] をクリックできますが、変更は適用されません。警告は表示されませんが、[ペインの配置 (Pane placement)] ボタンをもう一度クリックすると、ペインの配置がまだオンになっていることがわかります。

5.4.2 ペインの配置の設定方法

参加者をペインに配置する方法は次のとおりです。

1. **[ペインの配置 (Pane placement)]** ボタンをクリックします。

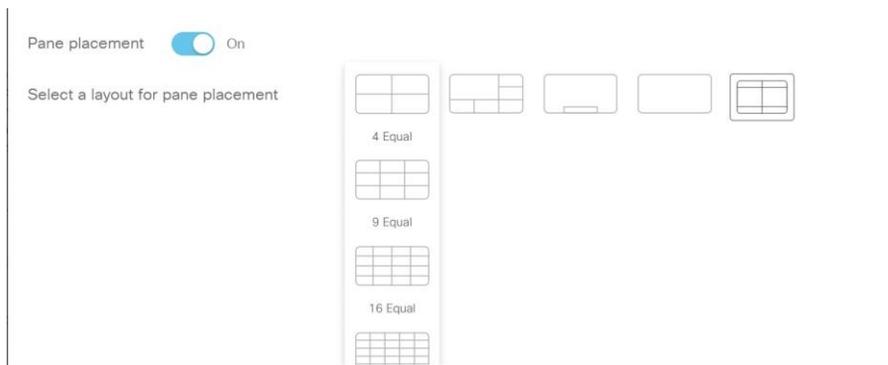


Pane placement

2. ペインの配置をオンにします

Pane placement On

3. レイアウトを選択します。



4. ペインに配置する参加者について、自分の画面に表示する内容を選択します。

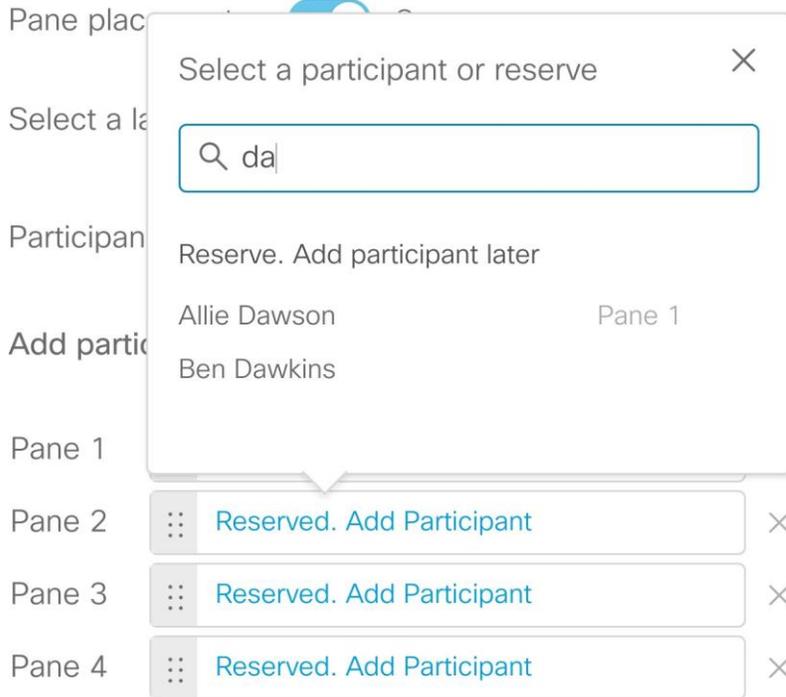
選択できる基準は、次のとおりです。

- ・ **セルフビューを表示 (Show self-view)** : 配置された参加者は、予約されているペインに自分のビデオストリームを表示します。
ビデオストリームがトランスコードされ、遅延が増えるため、ビデオレイアウト内に表示されるセルフビューの品質をローカルで表示されるセルフビューと同等に保つことができなくなります。
- ・ **空白のペインを表示 (Show a blank pane)** : 配置された参加者には、自分用に予約されているペインに空の背景が表示されます。
- ・ **ペインに別の参加者を表示 (Show another participant in the pane)** : 配置された参加者は自分自身を表示せず、どのペインが自分用に予約されているかを確認できません。代わりに、予約されたペインは次に配置された参加者によって占有され、その後に配置されたすべての参加者は1ペイン「上」に移動します。

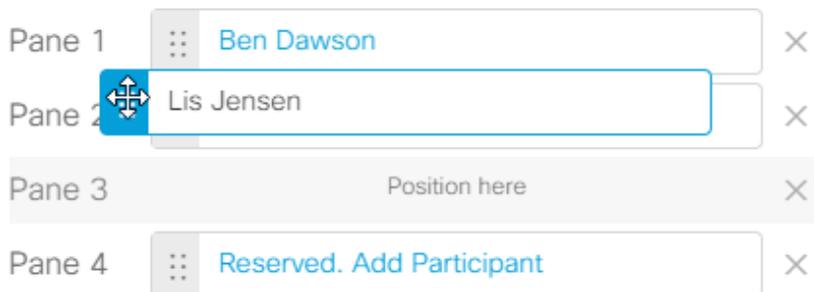
注：参加者ラベルがオンになっている場合、それらはセルフビューに表示されますが、

空白のビューには表示されません。参加者ラベルは、Meeting Server API (アプリケーション プログラミング インターフェイス) コマンドを介してのみオンまたはオフにできます。

- 参加者をペインに追加します。各ペインで、**[参加者の追加 (Add Participant)]** をクリックして参加者を追加します。



参加者を間違った順序で追加した場合は、参加者を上下にドラッグできます。ドットのエリアをつかみます。



リストの下にある **[別のペインを追加 (Add another pane)]** リンクをクリックすると、さらにペインを予約できます。また、ペインの横にある **[X]** をクリックすると、予約済みのペインを削除できます。削除する予約済みペインごとに、アクティブなスピーカーをレイアウトに表示できます。

注：アクティブなスピーカーを交互に使用するためのペインを予約することはできません。交互のアクティブなスピーカーは常に、予約されているよりも大きい番号のペインに配置されます。

たとえば、特定の参加者を最初の 2 つのペインに配置し、残りの参加者をアクティブなスピーカーの表示に使用できるようにすることができます。ただし、ペイン 1 と 4 に特定の参加者を配置し、アクティブなスピーカーがペイン 2 と 3 を使用できるようにすることはできません。

注：Meeting Server からアクティブスピーカー機能が使用されている場合、ペイン 1 は常にアクティブスピーカー用に予約されています。ペインの割り当てが Pane n から Pane n+1 に変わります。詳しくは『[Cisco Meeting Server Administrator Quick Reference Guide Screen Layouts, Pane Placement, and Customizable Layouts.](#)』を参照してください。

6. プレビューを確認し、希望する画面数に最適化します。

1 画面、2 画面、または 3 画面のエンドポイントで、選択したレイアウトで各参加者が配置される場所のプレビューを表示できます。すべてのペインが予約されている場合、または選択したレイアウトのペインと少なくとも同じ数の参加者が会議にいる場合、プレビューは正しく表示されています。

下の例では、3 つのペインが予約されているが、2 つのペインのみが参加者に割り当てられている場合の様子を見ることができます。もともと 4 つのペインが予約されていたが、1 つを削除して、ペインに配置されていない参加者について最後に話した人が右下のペインを占有できるようにしました。

これは同じ例で、2 画面のプレビューを示しています。Lis Jensen が左画面の下部ではなく、右画面の上部に表示されるようになったことに注意してください。このビューでは、最新のアクティブなスピーカーのうち 5 人を表示できます。

7. 高度な使用のためのオプション：選択したレイアウトをすべての参加者に適用しない場合は、[アクティブな参加者にこのレイアウトを設定する (Set this layout for active participant)] チェックボックスをオフにします。

注：このオプションは、高度な使用のみを目的としています。ほとんどのペイン配置シナリオでは、このボックスをオンのままにする必要があります。このオプションは、レイアウトを制御せずにペイン番号を適用したいユーザ向けに用意されています。

5.5 参加者を別の会議に移動する

アクティブな会議では、1人以上の参加者を選択して、別の会議に移動できます。これは、誰かが間違った会議にダイヤルインした場合、またはある会議から別の会議に直接移動する必要がある場合に役立ちます。大規模な会議からのブレイクアウトセッションにも使用できます。

すべての参加者を移動することはできません。一般的な制限は次のとおりです。

- ・ Microsoft クライアント (Lync、Skype for Business) を使用している参加者を移動することはできません。
- ・ デュアルホームの会議に誰かを移動することはできません。

Cisco Meeting Server の展開の設定方法によっては、さらに制限がある場合があります。詳細については、『Meeting Server [設定ガイド](#)』のリストにあるガイド「Cisco Meeting Server、API を使用して参加者を移動するための管理者ガイド」を参照してください。

オペレータとして、制限の詳細をすべて知る必要はありません。参加者を移動できない場合、Meeting Management は警告を表示します。

ただし、誰かを新しい会議に移動するとどうなるかを少し知っておく必要があります。

- ・ 参加者を新しい会議に移動したときに参加者がプレゼンテーションを行っている場合、そのプレゼンテーションは新しい会議でも表示される可能性があります。
- ・ ミュート ステータス、選択したレイアウト、重要度などの設定は、新しい会議のデフォルト設定に置き換えられます。
- ・ 参加者をアクティブにする必要があり、ロビーで待機している会議に誰かを移動すると、Meeting Management は移動した参加者をアクティブに変えます。つまり、移動した参加者は、ロビーで待機していた他の参加者とともに、すぐに会議に参加します。
- ・ 新しい会議がロックされている場合、Meeting Management はロックを無効にし、移動した参加者は会議に直接参加します。会議は、他の参加者のためにロックされたままになります。

注：ロック モードは、参加者をロックされた会議に移動したときの動作に影響します。すべての参加者をロックアウトできるロック モードを使用している場合、移動した参加者は新しい会議のロビーに留まる可能性があります。

参加者を移動する方法は以下のとおりです。

1. 移動する参加者を選択します。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	Participant name	Join time	Leave time	Actions
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	James Reeves	23/10/2020 21:51		
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Allie Dawson	23/10/2020 21:46		
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Brian Novak	23/10/2020 21:42		
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Ben Dawkins	23/10/2020 21:42		
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	John Smith	23/10/2020 21:42		

注：デュアルホームの会議から参加者を移動する場合、会議の詳細ビューから参加者を選択することはできません。代わりに、**[参加者の移動 (Move participants)]** ボタンをクリックし、**[参加者の移動 (Move participants)]** ダイアログで参加者を選択します。

2. **[参加者の移動 (Move participants)]** ボタンをクリックします。



Move
participants

3. 移動する参加者をすべて選択したことを確認します。

誰かを追加するのを忘れた場合は、フィルタを**[すべて (All)]**に変更することで、さらに参加者を選択できます。

Move Participants
×

Moving from: Weekly Team Update

Participants Selected All

Deselect all

Brian Novak

John Smith

Moving to

→ **Marketing review**
Start time: 23/10/2020 22:01; Owner: Brian Novak

NPI team meeting

Moving 2 participants from Weekly Team Update to Marketing review

Cancel

Move

注：参加者を移動できない場合は、参加者の名前の横に警告サインが表示されます。

- Allie Dawson
- Ben Dawkins
- Brian Novak

注：誰かをデュアルホームの会議に移動することはできないため、デュアルホームの会議はリストに表示されません。

注：このダイアログのリストは継続的に更新されます。参加者のいずれかが会議から切断されると、リストから消えます。

4. 参加者を移動する会議を選択します。
5. **[移動 (Move)]** をクリックします。

一部の参加者は、この機能を使用して移動できません。人を手動で移動する方法は以下のとおりです。

1. 参加者の詳細を開いて、ビデオ アドレスまたは番号をコピーします。
2. **ドロップ**を参加者に対し現在の会議から実施します。
3. 参加者を移動したい会議に移動します。
4. **[参加者の追加 (Add participants)]** をクリックし、ビデオアドレスまたは番号を貼り付けるか入力して、**[追加 (Add)]** をクリックします。

参加者を会議から移動した後も、参加者リストには、**[移動済み (Moved)]** のステータスで表示されます。**[フォロー (Follow)]** をクリックして、移動先の会議を表示することもできます。

<input type="checkbox"/>	1 ▲	Participant name	Join time 2 ▼	Leave time	Actions
<input type="checkbox"/>	☒ ✓	James Reeves	23/10/2020 21:51		🔊 📺 ✖ 📞 ⋮ 📹 👤 ✕
<input type="checkbox"/>	☒ ✓	Allie Dawson	23/10/2020 21:46		🔊 📺 ✖ 📞 ⋮ 📹 👤 ✕
<input type="checkbox"/>	☒ ✓	Ben Dawkins	23/10/2020 21:42		🔊 📺 ✖ 📞 ⋮ 📹 👤 ✕
<input type="checkbox"/>	☒ →	Brian Novak Follow	23/10/2020 21:42	23/10/2020 22:11	🔊 📺 ✖ 📞 ⋮ 📹 👤 ✕
<input type="checkbox"/>	☒ →	John Smith Follow	23/10/2020 21:42	23/10/2020 22:11	🔊 📺 ✖ 📞 ⋮ 📹 👤 ✕

5.6 会議ロビーを使用して会議をロックする

一部の会議では、主催者の準備が整うまで、一部の参加者が会議に参加できないことが役立つ場合があります。たとえば、招待された参加者が参加する前にすべての設定が完了していることを確認したり、開始後に会議をロックして、遅れて参加した参加者が気付かれずに参加できないようにしたい場合があります。

5.6.1 ロビーを使用して、招待された参加者がホストを待機できるようにする

Meeting Server 管理者が設定している場合、主催者がいない場合、一部の参加者は会議ロビーに留まります。会議ロビーのこの使用法は、管理者が特定のユーザ プロファイルを設定することによって異なります。

- ・ **アクティベータ (Activator)** : アクティベータのプロファイルを持つ参加者はホストになり、自分で会議を開始できます。また、彼らが会議に参加すると、すべてのロビー参加者が自動的に会議に移動します。
- ・ **非アクティベータ (non-Activator)** : 非アクティベータプロファイルを持つ参加者は、自分で会議を開始できないタイプのゲストになります。アクティベータが会議に参加するまで、ロビーで待機する必要があります。

5.6.2 会議のロック

会議をロックして、一部またはすべての参加者がアクティブな会議に参加できないようにすることができます。2 つの異なるロックモードがあります。1 つは、非アクティベータをロックアウトできる「アクティベーションが必要 (needs activation)」ロックモードと、すべての参加者をロックアウトできる「すべて (all)」ロックモードです。デフォルトのロックモードは「すべて (all)」ですが、管理者はこれを「アクティベーションが必要 (needs activation)」モードに変更できます。

ロックモードは、1 つのスペースのみなど、さまざまなレベルで設定できますが、ほとんどの管理者は、すべてに対して 1 つのロックモードを設定すると予想されます。

注：Meeting Management には、どのロックモードが使用されているかが表示されないため、管理者に設定内容を問い合わせてください。

「アクティベーションが必要 (needs activation)」ロックモードの制限：

- ・ デュアルホームの会議をロックすることはできません。
- ・ 個々の参加者が AVMCU でホストされている会議にダイヤルインしている会議をロックすることはできません。
- ・ 転送された通話をロックすることはできません。
- ・ ゲートウェイ コールをロックすることはできません。
- ・ スペースのメンバーは、そのスペースでホストされている会議からロックアウトされることはありません。
- ・ スペースの非メンバーが、非アクティベータプロフィールを持つとは限りません。
- ・ オペレータとして、参加者がアクティベータまたは非アクティベータのプロフィールを持っているかどうかを確認することはできません。
- ・ オペレータは、最後のアクティベータが会議を退出した後にどのようなルールが設定されているかを知ることができません。

「すべて (all)」ロックモードの制限：

- ・ デュアルホームの会議をロックすることはできません。
- ・ 個々の参加者が AVMCU でホストされている会議にダイヤルインしている会議をロックすることはできません。
- ・ 転送された通話をロックすることはできません。
- ・ オペレータは、最後のアクティベータが会議を退出した後にどのようなルールが設定されているかを知ることができません。

会議をロックする方法は以下のとおりです。



1. Lock をクリックします。

これにより、Meeting Server のバージョンと設定に応じて、非アクティベータのプロファイルを持つ参加者またはすべての参加者がロックアウトされます。

会議のロックを解除する方法は以下のとおりです。



Lock

1. Lock をクリックします。

これにより、アクティベータが存在する場合、すべての参加者が会議に参加できます。会議にアクティベータがない場合、非アクティベータはアクティベータが参加するまでロビーで待機します。

5.6.3 参加者をロビーに移動する

会議がロックされている場合、**[ロビーに移動 (Move to Lobby)]** オプションを使用して、特定の参加者またはすべての参加者をロビーに移動できます。会議の参加者を選択し、**[ロビーに移動 (Move to Lobby)]** オプションをクリックします。参加者リストの **[アクション (Actions)]** タブにある **[ロビーに移動 (Move to Lobby)]** アイコンを使用して、個々の参加者をロビーに移動することもできます。参加者がロビーに移動すると、参加者の移動を示す通知が表示されます。ロビーに移動した参加者のリストを表示するには、会議情報にある **[ロビー (Lobby)]** リンクをクリックします。

Meeting Server 管理者が、参加者がロビーで待たずにロックされた会議に直接参加することを許可している場合、そのような参加者をロビーに移動することはできません。このような参加者には、参加者リストの名前の横に **(i)** アイコンが表示されます。アイコンにカーソルを合わせると、「この参加者はロビーに移動できません」というツールヒントが表示されます。このような参加者をロビーに移動しようとする、「一部の参加者をロビーに移動できません」という通知が表示されます。そのような参加者については、参加者に対して使用できる **[ロビーに移動 (Move to lobby)]** アイコン **(🔒)** が無効になります。

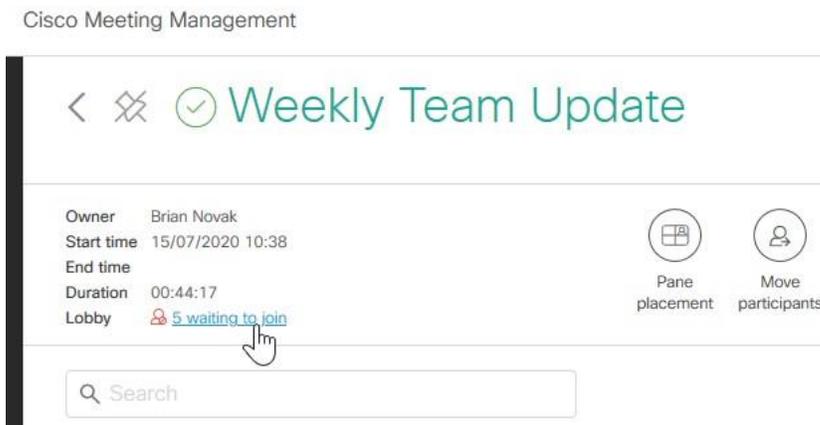
5.6.4 参加者の承認

会議がロックされている場合、ロビーの参加者を手動で会議に参加させることを選択できます。

[すべて承認 (Admit all)] ボタンを使用して、アクティベータが存在しない場合でも、すべてのロビー参加者（非アクティベータを含む）を手動で会議に参加させることができます。進行中の会議に、ロビーから個々の参加者を承認することもできます。

ロビー参加者を会議に参加させるには:

1. 会議の詳細で、待機している参加者の人数をクリックします



ロビー参加者のリストを含むダイアログが開きます。

2. オプション：会議に参加したくない参加者をドロップします。

注：ロビーからドロップした参加者は、切断された参加者の一般リストに表示されます。Meeting Management では、ロビーから切断された参加者と実際の会議からドロップされた参加者は表示されません。

注：Cisco Meeting Server Web アプリを使用している参加者をドロップすると、その参加者を会議にダイアルし直すことはできません。Web アプリは会議への参加のみに使用でき、通話の受信には使用できません。

3. オプション：参加者の表示名を変更します。
 - a. 参加者の名前の横をクリックします。
 - b. 名前を変更して[保存 (Save)] します。
4. 進行中の会議へのロビーからの個々の参加者またはすべての参加者を承認します。[ロビー (Lobby)] のポップアップ画面の場合は以下のとおりです。
 - ・ 個々の参加者を承認：ロビーの個々の参加者を会議に承認するには、その参加者に関連付けられている [アクション (Actions)] メニューのチェックマークボタンをクリックします。
 - ・ すべての参加者を承認：[すべて承認 (Admit all)] ボタンをクリックして、ロビーのすべての参加者が会議に参加できるようにします。

会議のロックが解除されている場合、アクティベータが存在するかどうかにかかわらず、すべてのロビー参加者が会議に参加できます。

5.6.5 アクティベータが去った後はどうなりますか？

最後のアクティベータが離れた後に何が起こるかは、Meeting Server 管理者が設定した内容によって異なります。

- ・ 非アクティブ化：非アクティベータは接続されたままですが、ロビーに戻されます。
- ・ 切断：非 Activator が切断されます。
- ・ アクティブ化されたまま：非アクティベータは会議にとどまります。

設定に関する詳細は、Cisco Meeting Server 管理者に問い合わせてください。

参加者が切断または非アクティブ化されるまでにかかる時間は、Meeting Server 管理者が設定した秒数によって異なります。

5.7 参加者の追加

新しい参加者を追加したり、切断された参加者にコールバックしたりできます。新しい参加者を追加する方法は以下のとおりです。

1. **[参加者の追加 (Add participants)]** ボタンをクリックします。



2. 追加する参加者のビデオ アドレスまたは番号、および DTMF の数字を入力します。ここに DTMF 番号を入力すると、参加者は直接会議に参加できます。

注：DTMF 番号がここで提供されていない場合は、参加者またはビデオオペレータが会議に参加するときに提供する必要があります。

管理者が TMS 電話帳を Meeting Management に追加している場合は、代わりに連絡先を検索できます。不明な点がある場合は、管理者に問い合わせてください。検索は TMS での検索と同じように機能しますが、最大 50 の検索結果が表示されます。

3. **[追加 (Add)]** をクリックします。

Meeting Management が表示名に関する情報を取得できない場合があるため、アドレスまたは番号が追加された参加者は、アドレスとともに参加者リストに表示される場合があります。ただし、接続時に表示名を変更できます。

切断された参加者にコールバックするには、参加者の個別の通話ボタンを使用します。

注：参加者が接続できない場合、エラーメッセージが表示されないことがあります。最初に接続ステータスとしてスピナーが表示され、次にステータスが切断に変わります。もう一度やり直してください。それでも参加者が接続できない場合は、管理者に Meeting Server のダイヤルプランを確認するよう依頼してください。

5.7.1 参加者を追加するときに DTMF 番号を指定する

DTMF 番号を入力する方法は以下のとおりです。

1. 会議の詳細で、参加者の名前を見つけます。
2. [アクション (Action)] 列で、アイコンをクリックします 。
3. ポップアップに DTMF 番号を入力し、[OK] をクリックして会議に参加します。

5.8 参加者の表示名を変更する

アクティブな会議中に、接続している参加者の表示名を変更できます。入力した表示名は、参加者が接続している限り、会議のすべての参加者に表示されます。

注：名前が変更された参加者が会議から切断された場合、再接続すると元の表示名になります。

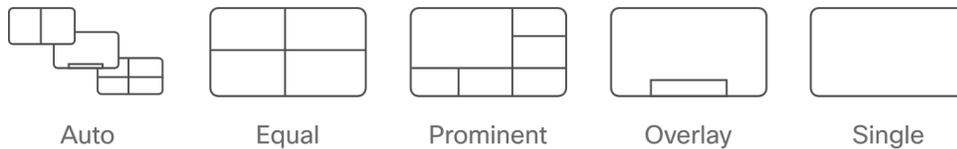
参加者の表示名を変更する方法は次のとおりです。

1. 参加者の詳細が表示されたサイド パネルを開きます。
2. 名前の横をクリックします。
3. 新しい名前を書き込んで**保存**します。

注：名前の長さは、アクセントのないローマ字で 50 文字まで、または漢字で 12 文字までです。ただし、会議の参加者が参加者リストに表示されるローマ字は、25 文字程度までになる可能性があります。また、参加者のペインに表示されるラベルは、画面上で使用可能なスペースに応じて短縮される場合があります。

5.9 会議の参加者全員または選択した参加者のレイアウトを変更する

SIP エンドポイントおよび Web アプリからダイヤルインしている個々の参加者をクリックして、すべての参加者または選択した参加者のビデオ レイアウトを変更できます。ここに示すレイアウトのいずれかを選択できます。



[シングル (Single)] レイアウトを除き、これらは動的なレイアウトの「ファミリー」であり、より多くの参加者が会議に参加するにつれて変化します。たとえば、[等分 (Equal)] レイアウトでは同じサイズのペインが表示され、4 人の参加者ビューから 25 人の参加者ビューに拡張されます。

さまざまなレイアウトの詳細については、『Cisco Meeting Server Administrator Quick Reference Guide: Screen Layouts and Pane Placement』を参照してください。

レイアウトの変更は、現在会議に参加している参加者にのみ影響し、変更後に参加する参加者には影響しません。

レイアウト権限を持つ個々の参加者は、後で自分のレイアウトを変更できます。レイアウトを変更するには、次の手順を実行します。

1. オプション：レイアウトを変更する参加者を選択します。
2. 参加者リストの上にある **[全員にレイアウトを設定 (Set layout for all)]** または **[レイアウトを設定 (Set layout)]** ボタンをクリックします。



Set layout
for all

注：ペインの配置がオンになっている場合は、**[ペインの配置 (Pane placement)]** ボタンを使用してレイアウトを変更することをお勧めします。これは、ペインの配置では、ここで選択できない各レイアウト ファミリの特定のバージョンが使用されるためです。

注：Meeting Management では、既存の Meeting Server レイアウトのサブセットのみを使用できます。

Lync/Skype for Business クライアントまたは Web アプリケーションのレイアウトを変更することはできません。また、一部のエンドポイントのレイアウトが Meeting Server で使用可能なもの異なる場合や、レイアウトを変更しようとする異なる動作を示す場合があります。概要については、ナレッジ ベースをご覧ください。

[Cisco Meeting Server で使用し、Cisco Meeting Management で管理する場合のエンドポイント レイアウト コントロールの動作内容](#)

5.10 誰が話しているか、プレゼンテーションを行っているかを確認する

アイコン  は、参加者が話しているか、オーディオの背景雑音を送信しているかを示します。

下のスクリーンショットでは、Sandra Ty からの音声がか現在聞こえています。Sally Wood は過去 30 秒以内に聞こえるようになったため、アイコンは表示されたままですが、灰色に変わりました。

<input type="checkbox"/>	1 ▲	Participant name	Join time	2 ▼	Leave time	Actions
<input type="checkbox"/>	☞	✓  Sandra Ty	...	23/10/2020 22:11		       
<input type="checkbox"/>	☞	✓  Sally Wood	...	23/10/2020 22:11		       

[発言中 (Speaking)] の参加者でフィルタ処理すると、現在聞き取れるすべての参加者と、過去 30 秒以内に聞き取れた参加者が表示されます。

別のアイコン  は、参加者がプレゼンテーションを行っているかどうかを示します。

下のスクリーンショットでは、Sandra Ty がプレゼンテーションをしており発言中です。

<input type="checkbox"/>	1 ▲	Participant name	Join time	2 ▼	Leave time	Actions
<input type="checkbox"/>	☞	✓  Sandra Ty 	...	23/10/2020 22:11		       
<input type="checkbox"/>	☞	✓ Sally Wood	...	23/10/2020 22:11		       

5.11 会議の参加者全員または選択した参加者の音声をミュートまたはミュート解除する

参加者をミュートする方法は以下のとおりです。

1. オプション：ミュートする参加者を選択します。
2. **[すべてミュート (Mute all)]** または **[ミュート (Mute)]** ボタンをクリックします。



Mute all

参加者をミュート解除するには、次のようにします。

1. オプション：ミュート解除する参加者を選択します。
2. **[すべてミュート解除 (Unmute all)]** または **[ミュート解除 (Unmute)]** ボタンをクリックします。



Unmute all

Web アプリと SIP エンドポイントがオーディオとビデオのコントロールを処理する方法は異なります。概要については、ナレッジ ベースをご覧ください。

[Cisco Meeting Server で使用し、Cisco Meeting Management で管理する場合、エンドポイントのミュート/ミュート解除コントロールはどのように動作しますか？](#)

5.12 録画を開始および停止する

Meeting Server で録画が設定されている場合は、会議の録画を開始するか、進行中の録画を停止することができます。

録画を開始または停止する方法は以下のとおりです。

1. [録画 (recording)] ボタンをクリックします。



Recording

注：個々の参加者が権限を持っている場合は、録画を停止または開始することもできます。

通常、会議の録画が設定されているかどうかは、管理者から通知されます。自分で確認する必要がある場合は、**[録画 (Recording)]** ボタンをクリックして、エラーメッセージが表示されるかどうかを確認します。

注：スペースがすべての会議を録画するように設定されている場合、会議が録画されていることは確認できますが、録画を停止することはできません。

5.13 ストリーミングの開始と停止

Meeting Server でストリーミングが設定されていて、管理している会議にストリーミング URI が設定されている場合、ストリーミングを開始または停止できます。

ストリーミングを開始または停止する方法は以下のとおりです。

1. ストリーミングボタンをクリックします。



Streaming

通常、会議にストリーミングが設定されているかどうかは、管理者から通知されます。自分で確認する必要がある場合は、**[ストリーミング (Streaming)]** ボタンをクリックして、エラーメッセージが表示されるかどうかを確認します。

5.14 新しい参加者が参加するときに強制的にミュートする

新しい参加者のミュート ステータスを上書きして、ミュート状態で参加する方法は以下のとおりです。

1. [参加時のミュート (Mute on entry)] ボタンをクリックします。

Mute on
entry

[参加時のミュート (Mute on entry)] は、新しい参加者にのみ影響し、現在会議に参加している参加者には影響しません。

ミュートされた参加者は、オペレータがミュートを解除するか、自分自身をミュート解除するまで、ミュートされたままになります。エンドポイントが異なれば、動作も異なります。概要については、ナレッジ ベースをご覧ください。

[Cisco Meeting Server で使用し、Cisco Meeting Management で管理する場合、エンドポイントのミュート/ミュート解除コントロールはどのように動作しますか](#)

5.15 個々の参加者のオーディオまたはビデオをオンまたはオフにする

個々の参加者のオーディオまたはビデオを制御するには、**[アクション (Actions)]** 列のコール制御を使用できます。

参加者の詳細を表示するサイド パネルからオーディオとビデオを制御することもできます。

また、Web アプリと SIP エンドポイントがオーディオとビデオの制御を処理する方法も異なります。概要については、ナレッジ ベースをご覧ください。

[Cisco Meeting Server で使用し、Cisco Meeting Management で管理する場合、エンドポイントのミュート/ミュート解除コントロールはどのように動作しますか？](#)

5.16 個々の参加者のレイアウトを変更する

個々の参加者のレイアウトを変更する方法は以下のとおりです。

1. **[会議 (Meetings)]** ページの会議の詳細ビューで、参加者を選択します。

参加者の詳細が表示されたサイド パネルが開きます。

2. ご希望のレイアウトをお選びください。

権限を持っている場合、個々の参加者は後で自分のレイアウトを変更できます。

Lync/Skype for Business クライアントまたは Web アプリケーションのレイアウトを変更することはできません。また、一部のエンドポイントのレイアウトが Meeting Server で使用可能なもの異なる場合や、レイアウトを変更しようとする異なる動作を示す場合があります。概要については、ナレッジ ベースをご覧ください。

[Cisco Meeting Server で使用し、Cisco Meeting Management で管理する場合のエンドポイント レイアウト コントロールの動作内容](#)

5.17 参加者の詳細を表示する

参加者の詳細は、通話の種類によって異なります。

- ・ **SIP** : 参加者は SIP または TIP エンドポイントを使用しています。

The screenshot displays the Cisco Meeting Management interface for a meeting titled "Department Update". The interface is divided into several sections:

- Header:** Cisco Meeting Management logo and user information (LDAP/Sally Wood, Video operator).
- Meeting Overview:** Meeting title "Department Update", owner "Brian Howell", start time "23/10/2020 21:41", end time "00:34:35", and lobby status "Empty".
- Participant List:** A table showing 4 participants: Allie Dawson, John Hanson, Sally Wood, and George Cavendish. Each entry includes a checkbox, a microphone icon, a status indicator, and a join time of 23/10/20.
- Participant Detail Panel (George Cavendish):**
 - Join time:** 23/10/2020 21:42
 - Encryption:** None
 - Call Type:** SIP
 - CMS:** AM-CORE-1
 - Direction:** Incoming
 - Layout Options:** Auto, Equal, Prominent, Overlay (selected), Single.
 - Audio Performance:**

	To participant	From participant
Protocol	opus	opus
Channel rate	63 kbps	67 kbps
Current packet loss	0 %	0 %
Jitter	0 ms	2 ms
RTT	0 ms	-
 - Video Performance:**

	To participant	From participant
Protocol	h264	h264
Resolution	1920x1080	1920x1080
Frame rate	24.1 fps	23.5 fps
Channel rate	3766 kbps	3435 kbps
Current packet loss	0 %	0 %
Jitter	0 ms	8 ms
RTT	-	0 ms
 - Presentation:** To participant / From participant.

注：個々の参加者の場合、使用中のエンドポイントでは使用できないレイアウト オプションが表示される場合があります。

- ・ **Lync**：参加者は Lync または Skype for Business を使用しています。

The screenshot displays the Cisco Meeting Management interface for a meeting titled "Department Update". The main area shows meeting details such as Owner (Brian Novak), Start time (23/10/2020 21:41), and Duration (00:34:12). A search bar and activity filters are present. Below, a table lists 4 participants: Allie Dawson, John Hanson, Sally Wood, and George Cavendish, all with a join time of 23/10/2020. The right-hand panel shows details for the selected participant, Allie Dawson, including Join time (23/10/2020 21:42), Call Type (Lync), CMS (AM-CORE-1), and Direction (Incoming). It also features a video layout selector with "Overlay" highlighted and a technical specifications table for Audio and Video.

Audio		To participant	From participant
Protocol	opus	opus	opus
Channel rate	63 kbps	67 kbps	67 kbps
Current packet loss	0 %	0 %	0 %
Jitter	0 ms	2 ms	2 ms
RTT	0 ms	-	-

Video		To participant	From participant
Protocol	h264	h264	h264
Resolution	1920x1080	1920x1080	1920x1080
Frame rate	24.1 fps	23.5 fps	23.5 fps
Channel rate	3766 kbps	3435 kbps	3435 kbps
Current packet loss	0 %	0 %	0 %
Jitter	0 ms	8 ms	8 ms
RTT	-	0 ms	0 ms

注：Lync 通話には、ドロップ コール以外の呼制御はありません。これは、Meeting Server が Lync または Skype for Business クライアントを制御できないためです。

- ・ **Web アプリ**：参加者は Web アプリを使用しています。

The screenshot shows the Cisco Meeting Management interface for a meeting titled "Department Update". The interface is divided into several sections:

- Header:** Meeting title "Department Update", owner "Brian Novak", start time "23/10/2020 21:41", end time "00:34:26", duration "00:34:26", and lobby "Empty".
- Participant List:** A table showing 4 participants:

Participant name	Join time
Allie Dawson	23/10/20
John Hanson	23/10/20
Sally Wood	23/10/20
George Cavendish	23/10/20
- Right Panel (Participant Details for Sally Wood):**
 - Call Information:** Join time: 23/10/2020 21:42, Encryption: None, Call Type: web app, CMS: AM-CORE-1, Direction: Incoming.
 - Audio Statistics:**

	To participant	From participant
Protocol	opus	opus
Channel rate	63 kbps	67 kbps
Current packet loss	0 %	0 %
Jitter	0 ms	2 ms
RTT	0 ms	-
 - Video Statistics:**

	To participant	From participant
Protocol	h264	h264
Resolution	1920x1080	1920x1080
Frame rate	24.1 fps	23.5 fps
Channel rate	3766 kbps	3435 kbps
Current packet loss	0 %	0 %
Jitter	0 ms	8 ms
RTT	-	0 ms
 - Presentation Statistics:**

	To participant	From participant
Protocol	h264	-
Resolution	1920x1080	-
Frame rate	23.1 fps	-

注：Web アプリの呼び出しには、レイアウトの選択肢がありません。これは、アプリ内の参加者のみがレイアウトを制御できるためです。

注：参加者が音声のみの参加者として通話に参加している場合、参加者の詳細にはビデオの開始または停止ボタンが表示されません。また、ビデオの統計は下に表示されません。参加者が音声のみの参加者として参加することを選択したかどうかを確認できるようになるまで、最大 15 秒かかる場合があります。

5.18 コール統計

すべての通話について、通話の [方向 (Direction)] は Meeting Server との間で行われ、通話の統計は参加者の観点からのものであることに注意してください。

以下の例では、George Cavendish は、誰かがプレゼンテーションを行っている会議にいます。Meeting Server がプレゼンテーション ストリームを彼に送信していることがわかります。

The screenshot shows the Cisco Meeting Management interface for a meeting titled "Department Update". The interface is divided into several sections:

- Header:** Cisco Meeting Management, Notifications, and user information (LDAP/Sally Wood, Video operator).
- Meeting Info:** Owner: Brian Novak, Start time: 23/10/2020 21:41, End time: 00:34:45, Duration: Empty, Lobby: Empty.
- Participant List:** A table showing 4 participants:

Participant name	Join time
Allie Dawson	23/10/20
John Hanson	23/10/20
Sally Wood	23/10/20
George Cavendish	23/10/20
- Controls:** Icons for Pane placement, Move participants, Add participants, Set layout for all, Mute all, and Unmute all.
- Right Panel (Statistics):**
 - Layout:** Auto, Equal, Prominent, Overlay (selected), Single.
 - Audio:**

	To participant	From participant
Protocol	opus	opus
Channel rate	63 kbps	67 kbps
Current packet loss	0 %	0 %
Jitter	0 ms	2 ms
RTT	0 ms	-
 - Video:**

	To participant	From participant
Protocol	h264	h264
Resolution	1920x1080	1920x1080
Frame rate	24.1 fps	23.5 fps
Channel rate	3766 kbps	3435 kbps
Current packet loss	0 %	0 %
Jitter	0 ms	8 ms
RTT	-	0 ms
 - Presentation:**

	To participant	From participant
Protocol	h264	-
Resolution	1920x1080	-
Frame rate	23.1 fps	-
Channel rate	3181 kbps	-
Current packet loss	0.01 %	-
Jitter	2 ms	-
RTT	-	-

Web アプリケーションと SIP 通話の場合、オーディオストリームの通話統計をいつでも確認できます。

会議の誰かがプレゼンテーションを行っている場合、オーディオのみの参加者を除くすべての参加者について、プレゼンテーション ストリームの統計が表示されます。

参加者が音声のみの参加者として参加している場合、ビデオまたはプレゼンテーションの統計、およびビデオの停止/開始ボタンは表示されません。

デュアル スクリーンまたは TIP デバイスを使用している参加者の場合、通話の統計は 1 つの画面にのみ表示されます。

5.19 参加者の重要度の指定

特定の人が発言していないときでも、会議で見えるようにしたい場合は、その人を「重要」にすることができます。複数の参加者を「重要」にした場合は、最後に発言した参加者が優先されます。

任意の参加者の重要度を設定する方法は次のとおりです。

1. 会議の詳細で、参加者の名前を見つけます。
2. [アクション (Action)] 列で、 をクリックします。

参加者は、青い星で重要としてマークされ、参加者リストの上部に固定されます。参加者は、サインアウトするか、手動でピンを削除するまで固定されたままになります。重要度をクリアしてもピンは削除されません。

参加者の詳細から重要度を設定またはクリアすることもできます。



Clear all
importance

すべての参加者の重要度をクリアしたい場合は、ページの上部にある **Clear all importance** をクリックします。一部の重要な参加者の重要度をクリアしたい場合は、最初に参加者を選択してからボタンをクリックします。

注： Meeting Management は、Meeting Management または Web アプリケーションを使用して設定されている場合にのみ重要度をサポートします。他の方法（API コマンドまたはサードパーティ ツール）を使用して Meeting Server で重要度を設定できますが、これらの他の方法で設定された重要度は Meeting Management に正しく表示されません。会議中に発生した場合、重要度は注意サインとツールヒント「**重要度は Meeting Management でサポートされていないツールを使用して設定されました**」が表示されます。サポートされていない重要度設定をクリアする前に、管理者に相談することをお勧めします。

注： ペインの配置がオンになっている場合、重要度は機能しません。

5.20 会議の参加者のスナップショットを撮る

会議の参加者のスナップショットを作成すると、会議の全体的なエクスペリエンスを監視したり、参加者側に表示されているレイアウトを確認したり、参加者のビデオ品質を確認したりするなどの診断目的で役立ちます。管理された会議では、Meeting Management はビデオオペレータを許可します。

- ・ 参加者のビデオのスナップショットを撮ります。
- ・ 選択したレイアウトに応じて参加者の画面に表示されるすべての参加者のビデオのスナップショットを撮ります。

キャプチャされたスナップショットは、1280*720（幅 * 高さ）ピクセルで利用できます。

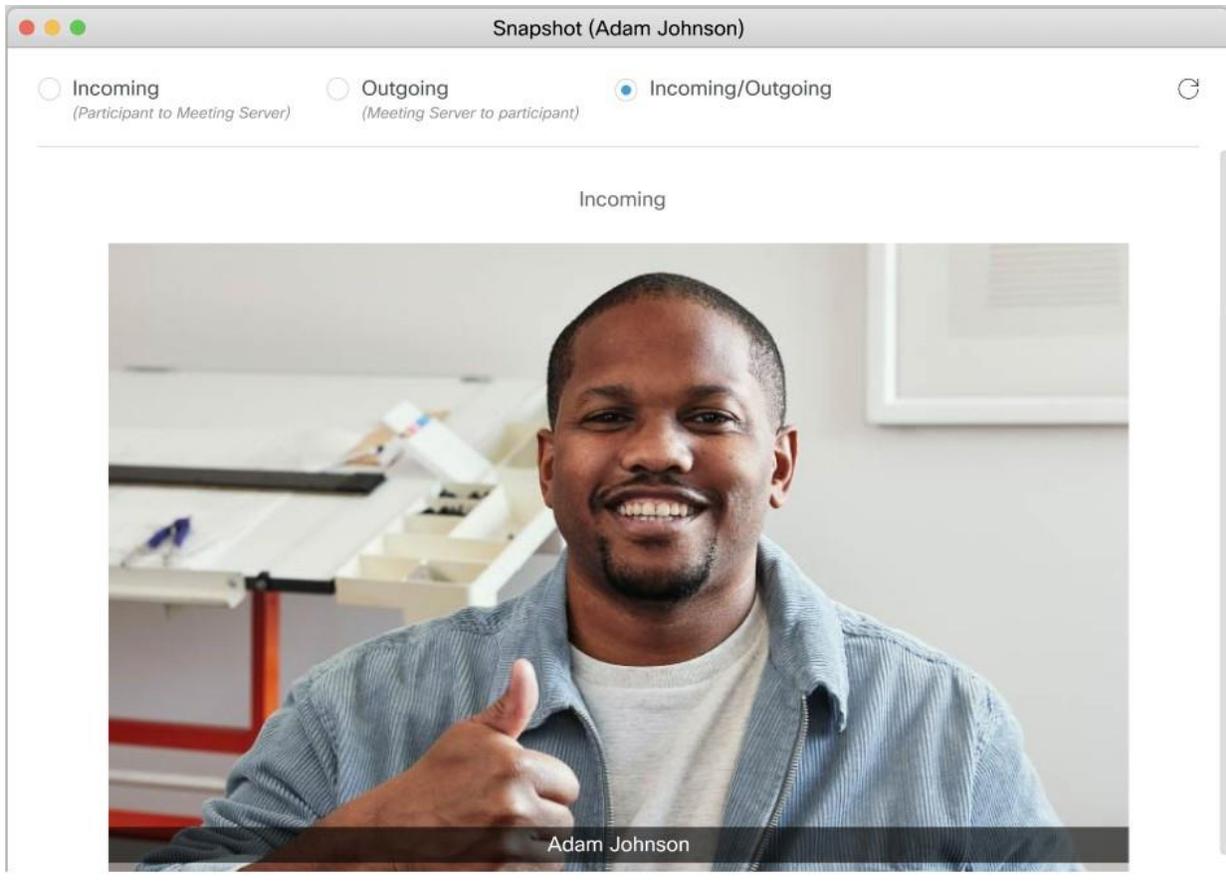
スナップショットを撮る方法は以下のとおりです。

1. 会議の詳細で、参加者の名前を見つけます。

2. **[アクション (Action)]** 列で、をクリックします 。

注：

- 永久ライセンス予約 (PLR) モードでは、会議の参加者のスナップショットの取得は実装されていません。
 - スナップショットの作成中は、コンテンツ共有はキャプチャされません。スナップショットを使用して、参加者のビデオのみがキャプチャされます。
-



スナップショットのキャプチャには、次のオプションを使用できます。

- ・ **着信 (Incoming)** (参加者から Meeting Server へ) : デフォルトでは、このオプションが選択されており、参加者のスナップショットが表示されます。
- ・ **発信 (Outgoing)** (Meeting Server から参加者へ) : Meeting Server から参加者に送信されたビデオのスナップショットが表示されます。これは、参加者画面に表示されるレイアウトを確認するために使用できます。
- ・ **着信/発信 (Incoming/Outgoing)** : この場合、スナップショットは両方向で使用できます。左側のウィンドウには選択した参加者の受信スナップショットが表示され、右側のウィンドウには参加者画面の送信スナップショットが表示されます。
- ・ **更新 (Refresh)**- 更新ボタンを使用すると 、ビデオオペレータは、すでに選択されているオプションの新しいスナップショットを撮ることができます。

5.21 機能が無効になっている会議

一部のシナリオでは、特定の機能が動作せず、無効になっています。この場合、Meeting Management は、会議の詳細の左上隅に 1 つ以上のラベルを表示します。

2 つの異なるラベルがあります。

- ・ [デュアルホーム](#)

デュアルホーム会議では、AVMCU でホストされている参加者は表示されず、いくつかの機能が無効になっているか、他の会議と同じように動作しません。

- ・ [リモート録画](#)

このラベルは、Lync または Skype for Business の参加者が会議を記録しているときに表示されます。リモート録画は、Cisco Meeting Server 経由では行われたい記録です。リモート録画の制御はできません。

5.21.1 デュアルホーム会議

デュアルホーム会議は、Meeting Server と Microsoft AVMCU (オーディオ/ビデオ マルチポイント コントロール ユニット) の両方がホストとして機能する会議です。Microsoft クライアント (Lync、Skype for Business) を使用するすべての参加者は AVMCU でホストされ、他のすべての参加者は Meeting Server でホストされます。Meeting Management は Meeting Server から情報を取得し、Meeting Server でホストされている参加者のみを表示できます。

[**デュアルホーム会議 (Dual homed meeting)**] というラベルが表示されるため、これが一部の機能が無効になっている非標準の会議であることが一目でわかります。デュアルホーム会議で実行できる唯一の会議レベルのアクションは、[**参加者の移動 (Move participants)**]、[**すべてのレイアウトの設定 (Set layout for all)**]、[**すべての重要度のクリア (Clear all importance)**]、[**録画 (Recording)**] の開始または停止です。

注：デュアルホーム会議から SIP 参加者のみを移動できます。AVMCU でホストされている参加者を移動することはできません。また、デュアルホームの会議に他の参加者を移動することもできません。

注：Meeting Server でホストされているすべての参加者が会議を退席すると、AVMCU でホストされている接続された参加者がまだいる場合でも、Meeting Management には会議が終了したと表示されます。

個々の参加者は、ビデオの開始または停止を除くすべてのアクションを実行できます。重要度は機能しますが、Meeting Server でホストされている参加者に対してのみ設定できます。また、重要度は、Meeting Server 上の他の参加者が見ることができるものにも影響します。AVMCU でホストされている参加者には、Meeting Management を使用して重要にした参加者ではなく、AVMCU によって定義された可聴参加者が表示されます。

表 2：会議レベルのコントロール

アクション	有効 (Enabled)	注記
ペインの配置 (Pane placement)	いいえ	

アクション	有効	注記
参加者の移動 (Move participants)	対応	これは、Meeting Server でホストされている SIP および Web アプリの参加者に対してのみ機能し、デュアル ホーム会議から移動する場合にのみ機能します。
参加者の追加 (Add participants)	いいえ	
すべての参加者のレイアウトを設定 (Set layout for all participants)	対応	
選択した参加者のレイアウトを設定 (Set layout for selected participants)	いいえ	
すべてミュート (Mute all)	いいえ	
すべてミュート解除 (Unmute all)	いいえ	
選択したミュート (Mute selected)	いいえ	
選択したミュート解除 (Unmute selected)	いいえ	
重要度をすべて解除 (Clear all importance)	対応	
選択した参加者の重要度をクリア (Clear importance for selected participants)	いいえ	
録画を開始および停止する (Start/stop recording)	対応	
ストリーミングを開始および停止する (Start/stop streaming)	いいえ	
参加時のミュート (Mute on entry)	いいえ	
イベント ログ (Event logs)	対応	Meeting Server でホストされている参加者とアクションのイベント ログのみを表示できます。
会議の終了 (End meeting)	いいえ	

注：デュアルホーム会議の場合、イベント ログには、参加者リストに表示されていない追加の「参加者」のイベントが表示される場合があります。これらの追加の「参加者」は、AVMCU と Cisco Meeting Server 間の接続を表し、管理可能な実際の参加者との混乱を避けるため、Meeting Management インターフェイスには表示されません。これらの接続には、追加の管理機能もありません。

表 3：個々の参加者の制御

アクション	有効	注記
ミュート/ミュート解除 (Mute/unmute)	対応	
ビデオを開始または停止する (Start/stop video)	いいえ	
重要にする/重要性をクリアする (Make important/clear importance)	対応	重要度は、Meeting Server でホストされている参加者に表示される内容にのみ影響します。
コール (Call)	いいえ	
ドロップ (Drop)	対応	
レイアウトの変更 (Change layout)	対応	

5.21.2 リモート録画

Lync または Skype for Business の参加者が会議を記録している場合は、**[リモート録画 (Remote recording)]** というラベルが表示されます。

リモート録画は、Cisco Meeting Server によって処理されない記録です。リモート録画が行われている場合、すべての参加者に録音インジケータが表示されます。

The screenshot displays the Cisco Meeting Management interface for a meeting titled "Department Update". The interface includes a navigation sidebar on the left, a top toolbar with various meeting controls, and a participant list table. The participant list shows 5 participants: James Reeves, Allie Dawson, Brian Novak, Ben Dawkins, and John Smith, each with a recording indicator.

Participant name	Join time	Leave time	Actions
James Reeves	23/10/2020 21:51		[Icons for mute, unmute, chat, etc.]
Allie Dawson	23/10/2020 21:46		[Icons for mute, unmute, chat, etc.]
Brian Novak	23/10/2020 21:42		[Icons for mute, unmute, chat, etc.]
Ben Dawkins	23/10/2020 21:42		[Icons for mute, unmute, chat, etc.]
John Smith	23/10/2020 21:42		[Icons for mute, unmute, chat, etc.]

ビデオ システムからダイヤルインする参加者には、Meeting Server によって処理される記録の場合とは異なるリモート録画の録画インジケータが表示されます。Web アプリのユーザには、リモートであれ Meeting Server 経由であれ、すべての録画で同じ録画インジケータが表示されます。

詳細については、いずれかの『[Cisco Meeting Server 導入ガイド](#)』の「デュアルホーム会議用の録音インジケータ」の項を参照してください。

6 会議イベントログ

イベント ログは、会議の開始時と終了時、参加者の参加と退出時、録画の開始時、レイアウトの変更時、参加者がいつミュート/ミュート解除されたかなど、会議で起こったことのタイムラインを提供します。

会議が **[会議 (meeting)]** ページにリストされている限り、個々の会議のイベントログを利用できます。ログは画面で表示するか、後でアクセスする必要がある場合はダウンロードできます。

6.1 イベントログのタイムスタンプ

Meeting Management は、Meeting Server から情報を受信すると、タイムスタンプをイベントログに適用します。タイムスタンプは UTC で指定および保存されますが、Meeting Management 内のイベントログを見ると、お使いのブラウザのタイムゾーンに変換されています。

下の表は、Meeting Management での時間が割り当てられ、表示される方法を示しています。

表示	タイムスタンプを割り当てるシステム	タイムゾーンまたは標準	時間フォーマット	注記
画面上のイベント ログ	Meeting Management	ブラウザのタイムゾーン	24時間形式	イベントログが Meeting Server と再同期されると、新しいタイムスタンプが提供されます。
ダウンロードしたイベント	Meeting Management	UTC	24時間形式	
会議ページの詳細と会議の詳細	Meeting Server	ブラウザのタイムゾーン	24時間形式	Meeting Server の時刻が Meeting Management の時刻と同期していない場合、ここに表示されるタイムスタンプは、イベント ログに表示されるものと異なる場合があります。

画面にイベント ログを表示する方法は以下のとおりです。

1. [イベントログ (Event logs)] ボタンをクリックします。



2. ログを参照します。

Logs for Weekly Team Update
×

Timestamp	User	Message	Participant	Level
23/10/2020 21:46:10		Participant joining	Allie Dawson	Information
23/10/2020 21:43:10	swood	Set meeting layout: onePlusN: 3 participants affected		Information
23/10/2020 21:42:10		Participant joining	John Smith	Information
23/10/2020 21:42:10		Participant joining	Ben Dawkins	Information
23/10/2020 21:42:10		Meeting started		Information
23/10/2020 21:42:10		Participant joining	Brian Novak	Information

1 2
Download log

タイムスタンプ：画面上のログに表示されるタイムスタンプは、Meeting Management サーバーの時刻に基づいており、ブラウザのローカル タイムゾーンに変換されています。

ユーザ：ここにリストされているユーザは、ビデオオペレータまたは Meeting Management の管理者です。

注：参加者は、Meeting Server に登録されているユーザであっても、Meeting Management にユーザとして登録されません。

メッセージ：「メッセージ」では、何が起こったかを示します。

参加者：イベントが参加者によって開始された場合、または個々の参加者に対して変更が行われた場合、参加者の名前またはアドレスが表示されます。たとえば、ビデオオペレータが個々の参加者の画面レイアウトを変更すると、ユーザと参加者の両方が表示されます。

注：Meeting Management を再起動すると、すべてのイベント ログが失われます。開始時刻と参加者の参加時刻のみが再作成され、アクティブな会議にのみ適用されます。再同期されたイベントは新しいタイムスタンプを取得するため、再起動中にアクティブだった会議のタイムスタンプは信頼できないことに注意してください。

6.2 イベントログメッセージ一覧

次の表に、表示される可能性のあるイベント ログ メッセージを示します。

メッセージ	表示されたユーザ	表示された参加者	レベル	説明
会議参加者を追加： address=<address>	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータが、表示されたアドレスで参加者を追加しました。 ビデオオペレータが参加者に電話をかけたときに、参加者の名前を表示することはできません。
会議参加者の追加に失敗しました： address=<address>	はい	いいえ	警告	ビデオオペレータが、表示されたアドレスで参加者を追加しようとして失敗しました。操作に失敗しました。
参加者を接続解除する	はい	はい	情報	ビデオオペレータが参加者を接続解除しました。
参加者の接続解除に失敗しました	はい	はい	警告	ビデオオペレータが参加者を接続解除しようとして失敗しました。操作に失敗しました。
会議の終了	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータが会議を終了しました。
会議を終了できませんでした	はい	いいえ	警告	ビデオオペレータが会議を終了しようとして失敗しました。操作に失敗しました。
会議が終了しました	いいえ	いいえ	情報	会議が終了しました。
会議が開始されました	いいえ	いいえ	情報	会議が開始されました。 これは、最初の参加者が参加したとき、またはコマンドを介して会議が開始されたときに発生します。 たとえば、会議が TMS 経由で予約されている場合、TMS は会議を開始するコマンドを送信します。
参加者の参加	いいえ	はい	情報	参加者が会議に参加したか、会議に再接続しました。

メッセージ	表示されたユーザ	表示された参加者	レベル	説明
参加者が接続解除されました	いいえ	はい	情報	参加者が接続解除されました。
参加者の統合	いいえ	はい	情報	これは、接続解除と再接続のために、参加者が Meeting Management に 2 回表示された場合に発生します。Meeting Management は詳細を比較し、同じ参加者の重複を削除します。
参加者の再参加	いいえ	はい	情報	ある参加者がビデオオペレータによって会議に呼び戻されました。
録音： recorder=<recorder>、 path=<path>	いいえ	はい	情報	ローカル レコーダーでの録画が開始された直後に、レコーダーの名前とパスがイベント ログに表示されます。 レコーダーは、イベント ログに参加者として表示されます。
録音：レコーダー =<recorder>	いいえ	はい	情報	SIP レコーダーでの録音が始まった直後に、レコーダーの名前がイベント ログに表示されます。 レコーダーは、イベント ログに参加者として表示されます。
参加者にリダイヤル	はい	はい	情報	ビデオオペレータが、接続解除された参加者を会議に呼び戻しました。
参加者をリダイヤルできませんでした	はい	はい	警告	ビデオオペレータが、接続解除された参加者を会議に呼び戻そうとしました。操作に失敗しました。
会議のレイアウトを設定： layout=<layout>	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータが、すべての参加者のレイアウトを表示されているレイアウトに変更しました。
会議のレイアウトを設定できませんでした： layout=<layout>	はい	いいえ	警告	ビデオオペレータが、すべての参加者のレイアウトを表示されているレイアウトに変更しようとした。操作に失敗しました。

メッセージ	表示されたユーザ	表示された参加者	レベル	説明
会議の録画の設定： enabled=true	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータが録画を開始しました。
会議の録画の設定に失敗しました： enabled=true	はい	いいえ	警告	この会議では、録画機能を使用できません。ビデオオペレータが録画を開始しようとしたが、操作に失敗しました。
会議の録画の設定： enabled=false	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータが録画を停止しました。
会議レコードの設定に失敗しました： enabled=false	はい	いいえ	警告	ビデオオペレータが録画を停止しようとしたが、操作は失敗しました。
会議ストリームの設定： enabled=True	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータがストリーミングを開始しました。
会議ストリームの設定に失敗しました： enabled=True	はい	いいえ	警告	ビデオオペレータがストリーミングを開始しようとした。操作に失敗しました。
会議ストリームの設定： enabled=False	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータがストリーミングを停止しました。
会議ストリームの設定に失敗しました： enabled=False	はい	いいえ	警告	ビデオオペレータがストリーミングを停止しようとした。操作に失敗しました。
参加者のレイアウトを設定します： layout=<layout>	はい	はい	情報	ビデオオペレータが、個々の参加者のレイアウトを表示されているレイアウトに変更しました。
参加者レイアウトの設定に失敗しました： layout=<layout>	はい	はい	警告	ビデオオペレータが、個々の参加者のレイアウトを表示されているレイアウトに変更しようとした。操作に失敗しました。

メッセージ	表示されたユーザ	表示された参加者	レベル	説明
参加者のミュートの設定 : <stream>=<value>	はい	はい	情報	ビデオオペレータが参加者をミュートまたはミュート解除したか、参加者のビデオを停止または開始しました。 <stream> は rxAudio または rxVideo にできます <value> は True (オーディオのミュートやビデオの停止) または False (オーディオのミュート解除やビデオの開始) にできます。 値は、現在の状態ではなく、ビデオオペレータが変更を試みた状態です。
参加者のミュートの設定 : <stream>=<value>	はい	はい	警告	ビデオオペレータが参加者をミュートまたはミュート解除しようとしたか、参加者のビデオを停止または開始しようとした。操作に失敗しました。 <stream> は rxAudio または rxVideo にできます <value> は True (オーディオのミュートやビデオの停止) または False (オーディオのミュート解除やビデオの開始) にできます。 値は、現在の状態ではなく、ビデオオペレータが変更を試みた状態です。
ストリーミング : streamer<streamer>=、 url=<url>	いいえ	はい	情報	ストリーミングが開始された直後に、このメッセージが表示され、リストされた名前の Streamer がリストされた URL を使用するように構成されていることを通知します。
入場時に会議をミュートに設定 : enabled=True	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータは、すべての新しい参加者が入場時にミュートされるように設定しました。
参加時に会議のミュートを設定できませんでした : enabled=True	はい	いいえ	警告	ビデオオペレータが、入場時にすべての新しい参加者をミュートに設定しようとしたが、操作が失敗しました。
参加時に会議のミュートを設定 : enabled=False	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータが入場時にミュートを無効にしました。

メッセージ	表示されたユーザ	表示された参加者	レベル	説明
入場時に会議のミュートを設定できませんでした : enabled=False	はい	いいえ	警告	ビデオオペレータが、入場時にミュートを無効にしようとした。操作に失敗しました。
<scheduled start> に開始予定の会議	いいえ	いいえ	情報	会議は、表示された時間に開始されるように TMS でスケジュールされました。
<scheduled end> に終了予定の会議	いいえ	いいえ	情報	会議は、表示された時間に終了するように TMS でスケジュールされました。
ミーティングには TMS ID <tms conference id> があります	いいえ	いいえ	情報	会議は、表示された TMS でスケジュールされました。 TMS 会議 ID。
会議の重要度を設定します。 <unset>	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータがすべての重要性をクリアしました。
会議の重要度の設定に失敗しました : <unset>	はい	いいえ	警告	ビデオオペレータがすべての重要度をクリアしようとしたが、操作は失敗しました。
参加者の重要度を設定します : <value>	はい	はい	情報	ビデオオペレータが参加者を重要に、または重要度をクリアしました。 <value> は、重要の場合は「0」、クリアの場合は未設定 (unset) にすることができます。 値は、現在の状態ではなく、ビデオオペレータが変更を試みた状態です。
参加者の重要度の設定に失敗しました : <value>	はい	はい	警告	ビデオオペレータは、参加者を重要にするか、重要性をクリアしようとしたが、操作は失敗しました。 <value> は、重要の場合は「0」、クリアの場合は未設定 (unset) にすることができます。 値は、現在の状態ではなく、ビデオオペレータが変更を試みた状態です。

メッセージ	表示されたユーザ	表示された参加者	レベル	説明
会議の重要度を設定します。 <unset> : 影響を受ける参加者 <num participants> 人	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータは、選択された参加者の重要性をクリアしました 「<num participants> 人の参加者が影響を受けます」は、影響を受ける参加者の名前を表示するためにクリックできるリンクです。
会議のミュートを設定します : rxAudio=True : <num participants> 人の参加者が影響を受けます	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータが選択した参加者をミュートしました。 「<num participants> 人の参加者が影響を受けます」は、影響を受ける参加者の名前を表示するためにクリックできるリンクです。
会議のミュートを設定します : rxAudio=True : <num participants> 人の参加者が影響を受けます	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータが選択した参加者をミュートしました。 「<num participants> 人の参加者が影響を受けます」は、影響を受ける参加者の名前を表示するためにクリックできるリンクです。
会議のミュートを設定します : rxAudio=False : <num participants> 人の参加者が影響を受けます	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータが選択した参加者のミュートを解除しました。 「<num participants> 人の参加者が影響を受けます」は、影響を受ける参加者の名前を表示するためにクリックできるリンクです。
会議のミュートの設定に失敗しました : rxAudio=True	はい	いいえ	警告	ビデオオペレータが、選択した参加者をミュートしようとした。操作に失敗しました。
会議のミュートの設定に失敗しました : rxAudio=False	はい	いいえ	警告	ビデオオペレータが、選択した参加者のミュートを解除しようとした。操作に失敗しました。

メッセージ	表示されたユーザ	表示された参加者	レベル	説明
会議のレイアウトを設定します。 <layout> : 影響を受ける参加者 <num participants> 人	はい	いいえ	情報	ビデオオペレーターが、選択した参加者のレイアウトを表示されているレイアウトに変更しました。 「<num participants> 人の参加者が影響を受けます」は、影響を受ける参加者の名前を表示するためにクリックできるリンクです。
参加者の移動先 : <meeting name>	いいえ	はい	情報	参加者は、この会議から表示された会議に移動中です。
参加者が移動前にいた会議 : <meeting name>	いいえ	はい	情報	参加者は、表示されている会議からこの会議に移動中です。
参加者が <meeting name> から正常に移動することができました	いいえ	はい	情報	参加者が表示された会議からこの会議に移動しました。
参加者が <meeting name> に正常に移動することができました	いいえ	はい	情報	参加者がこの会議から表示された会議に移動しました。
参加者が <meeting name> から移動できませんでした	いいえ	はい	警告	表示されている会議から参加者を移動できませんでした。
参加者が <meeting name> に移動できませんでした	いいえ	はい	警告	参加者を表示された会議に移動できませんでした。
要求された参加者の移動 : destination=<meeting name> : <num participants> 人の参加者が影響を受けます	はい	いいえ	情報	選択した参加者を移動しました。 「<num participants> 人の参加者が影響を受けます」は、影響を受ける参加者の名前を表示するためにクリックできるリンクです。

メッセージ	表示されたユーザ	表示された参加者	レベル	説明
要求された参加者の移動に失敗しました： destination=<meeting name> : <num panes> のペインが影響を受けます	はい	いいえ	警告	選択した参加者を移動できませんでした。 「<num participants> 人の参加者が影響を受けます」は、影響を受ける参加者の名前を表示するためにクリックできるリンクです。
会議のペインの配置を設定 : self_pane=<self pane option> layout=<layout> : <num panes> のペインが影響を受けます	はい	いいえ	情報	表示されたセルフ ペイン オプションとレイアウトを使用して、ペインの配置が設定されています。セルフ ペイン オプションは、予約済みペインに配置されているユーザに表示されるものです。 セルフペインのオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ・ self = セルフビュー ・ blank = 空白のペイン ・ skip = 次の参加者 「<num panes> のペインが影響を受けます」は、予約されているペインを確認するためにクリックできるリンクです。
会議のペインの配置を設定できませんでした : self_pane=<self pane option> layout=<layout> : <num panes> のペインが影響を受けます	はい	いいえ	警告	ビデオオペレータが、表示されたセルフ ペイン オプションとレイアウトを使用して、ペインの配置を設定しようとした。操作に失敗しました。 「<num participants> のペインが影響を受けます」は、予約されているペインを確認するためにクリックできるリンクです。
会議ウィンドウの配置をクリアする	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータがペインの配置をオフにしました。
会議ウィンドウの配置をクリアできませんでした	はい	いいえ	警告	ビデオオペレータがペインの配置をオフにしようとしたが、操作は失敗しました。

メッセージ	表示されたユーザ	表示された参加者	レベル	説明
参加者の名前を <original display name> から <new display name>	はい	はい	情報	ビデオオペレータが参加者の表示名を変更しました。 新しい名前は、このメッセージの参加者列に表示される名前だけでなく、この参加者に関連する以降のメッセージにも表示されます。
参加者の名前を <original display name> から <new display name> が 失敗しました	はい	はい	警告	ビデオオペレータが参加者の表示名を変更しようとした。 操作は失敗し、元の表示名が他の参加者に表示され、Meeting Management に表示されます。
会議のロックを設定： locked=True	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータが会議をロックしました。
会議のロックの設定に失敗 しました：locked=True	はい	いいえ	警告	ビデオオペレータが会議をロックしようとしたが、操作は失敗しました。
会議のロックの設定： locked=False	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータが会議のロックを解除しました。
会議のロックの設定に失敗 しました：locked=False	はい	いいえ	警告	ビデオオペレータが会議のロックを解除しようとしたが、操作は失敗しました。
すべて承認	はい	いいえ	情報	ビデオオペレータは、すべてのロビー参加者の会議への参加を承認しました。
すべて承認できません でした	はい	いいえ	警告	ビデオオペレータが、すべてのロビー参加者の会議への参加を承認しようとした。 操作に失敗しました。

7 通知

Meeting Management は、通知を介してシステムで何が起きているかを最新の状態に保ちます。ビデオオペレータは、管理者に対応を依頼する必要があるいくつかの問題を含む、関連する問題について通知を受け取ります。

通知には、3 段階のシビラティ（重大度）があります。

- ・ **エラー (Error)** : 重大レベルの問題
- ・ **警告 (Warning)** : ご自身や管理者が Meeting Management の実行を継続するために対処する必要がある問題
- ・ **情報 (Information)** : 有用な情報または軽微な

問題 以下の画像は、通知の例を示しています。

注：上部のバーの数値は 30 秒ごとに更新されるため、[概要 (Overview)] ページに表示される数値とは一時的に異なる場合があります。

The screenshot displays the Cisco Meeting Management interface. At the top, the title is "Overview". On the right, there are two icons: "Notifications" (with a red dot) and "LDAP Lewis Hill Video operator". The main content area is divided into two panels. The left panel, titled "Notifications", lists three items:

- Error**: 28/10/2020 15:34:19 The credentials provided for server Server 1 are incorrect.
- Warning**: 28/10/2020 15:34:19 Events communications with server Server 2 have been disrupted.
- Information**: 28/10/2020 15:34:19 The server Server 3 is attempting to synchronize so meeting and participant details may be incomplete.

Below the list is a link: "See notifications (3)". The right panel, titled "License status", shows "Smart Licensing" with three sub-items:

- Meetings: **In compliance** (green bar)
- Recording or Streaming: **In compliance** (green bar)
- Customization: **Unlicensed** (grey bar)

A vertical sidebar on the left contains icons for "Overview", "Meetings", and "Help".

7.1 すべての通知の表示

通知を確認する方法は以下のとおりです。

1. **[概要 (Overview)]** ページに移動します。

最新の 5 つの通知は、**[概要 (Overview)]** ページに直接表示されます。

2. すべての通知を表示するには、**[通知を表示 (See notifications)]** をクリックします。

または、トップバーに移動して **[通知 (Notifications)]** をクリックします。

7.2 通知のリスト

以下に、ビデオオペレータに表示できる通知のリストと、通知が発生した場合の対処方法を示します。

メッセージ	重大度	説明	アクション
サーバーに提供された資格情報 <name> は正しくありません	エラー	Meeting Management は、間違ったユーザー名とパスワードでアクセスしようとしているため、この Call Bridge から情報を受信できません。	設定を確認してもらうように管理者に依頼してください。
サーバー <name> は、この Meeting Management を CDR 受信者として追加することを許可しませんでした	エラー	Meeting Management は、この Call Bridge から会議情報を受信できません。	設定を確認してもらうように管理者に依頼してください。
サーバー <name> は、アドレスに回答していません <address>	エラー	Meeting Management は、このアドレスのこの Call Bridge に接続できません。	設定を確認してもらうように管理者に依頼してください。
LDAP バインドログイン情報が無効です	エラー	LDAP は、ユーザー名とパスワードを確認するために使用されるプロトコルです。通常どおり作業を続行できますが、他のユーザーがサインインできない場合があります。	LDAP サーバーの設定を編集するよう管理者に依頼してください。

メッセージ	重大度	説明	アクション
サーバー <name> の CDR が受信されていません	警告	Meeting Management はこの Call Bridge からコール詳細レコードを受信していないため、この Call Bridge でホストされているコールの会議情報がありません。	設定を確認してもらうように管理者に依頼してください。
サーバーの最後の既知の CDR インデックス <name> が、<count> 回のレコードによって想定されるインデックスとは異なります。	警告	この Call Bridge でホストされているコールの一部のコール詳細レコードがありません。これは、Meeting Management が Call Bridge への接続を失ったことを示している可能性があります。	管理者に Call Bridge のステータスを確認するよう依頼してください。
CDR 受信者アドレスが指定されておらず、CDR 受信者として追加できません。 <name>	警告	Meeting Management は、Call Bridge から通話詳細レコードを受信するように設定されていないため、会議をモニタリングできません。	設定を確認してもらうように管理者に依頼してください。
サーバー<name> とのイベント通信が妨害されました	警告	この Call Bridge への Meeting Server イベントの接続が中断されました。	Meeting Management は再接続を試みます。1 分たっても警告が消えない場合は、管理者に構成の確認を依頼してください。
サーバー <name> は現在同期中のため、会議と参加者の詳細が不完全な可能性があります	情報	この Call Bridge でホストされている通話に関する情報は、不完全である可能性があります。	操作は不要です。同期が完了すると通知が消えます。
クラスタ <name> のライセンスステータスを更新できませんでした	エラー	Meeting Management は現在、このクラスタからライセンス情報を受け取っておらず、 【概要 (Overview)】 ページに表示されるライセンスステータスが正しくない可能性があります。	5 分経過してもエラー メッセージが消えない場合は、管理者に構成の確認を依頼してください。

メッセージ	重大度	説明	アクション
TMS 電話帳が利用できません	警告	Meeting Management は、どの TMS 電話帳にも接続できません。Meeting Management が TMS に接続できないか、TMS のこの Meeting Management に電話帳が割り当てられていません。	権限がある場合は、TMS に移動し、電話帳が Meeting Management に割り当てられていることを確認します。そうでない場合は、TMS 管理者に確認を依頼してください。 電話帳が割り当てられている場合は、Meeting Management 管理者に、Meeting Management の TMS 設定と TMS への接続を確認するよう依頼してください。
スマート アカウントのライセンス ステータスを更新できませんでした	エラー	接続された Meeting Server クラスタのライセンス ステータスを更新できませんでした。	5 分経過してもエラー メッセージが消えない場合は、管理者に構成の確認を依頼してください。
1 つ以上の CRL をダウンロードできませんでした。詳細については、ログを参照してください	警告	Meeting Management が証明書を証明書失効リスト (CRL) に対してチェックすることを選択しましたが、CRL の 1 つをダウンロードできませんでした。	システムログを確認してもらうよう管理者に依頼してください。
すべてのライセンス種別に割り当てライセンス数が設定されていない	エラー	管理者はスマート ライセンスの使用を選択しましたが、まだすべての詳細を入力していません。 参加者は、会議中に警告を見たり聞いたりすることができます。	管理者にライセンス設定を確認するよう依頼してください。
ライセンス タイプに割り当てられたライセンスの数が、バーチャル アカウントで使用可能な数を超えているか、Cisco Smart Software Manager で確認されていない	エラー	Meeting Management は Smart Licensing を使用していますが、一部の設定が入力されていないか、設定が正しくありません。参加者は、会議中に警告を見たり聞いたりすることができます。	管理者にライセンス設定を確認するよう依頼してください。
クラスタのライセンス機能 <name> は更新できませんでした	エラー	Meeting Management はクラスタのライセンス情報を更新できなかったため、実行がアクティブになっている可能性があります。	管理者に処置を依頼してください。

メッセージ	重大度	説明	アクション
スマート アカウ ントのライセンス機 能を更新できませ んでした	エラー	Meeting Management は、接 続されたクラスタのライセン ス情報を更新できなかったた め、施行がアクティブになっ ている可能性があります。	管理者に処置を依頼してください。
少なくとも 1 つのサ ーバーが、Meeting Management でサポ ートされていない 3.0 より前のソフト ウェアバージョンを 実行しています。	エラー	接続されている 1 つ以上の Call Bridge が、サポートさ れていないソフトウェアを実 行しています。	管理者に処置を依頼してください。
Meeting Management が正 しく再起動されま せんでした	エラー	Meeting Management は、シ ャットダウンせずに電源を切 ったか、クラッシュしまし た。	管理者に調査を依頼してください。

8 ライセンス ステータス

サインインしている Meeting Management のインスタンスでライセンスが有効になっている場合、Cisco Meeting Server 展開のライセンス ステータスを最新の状態に保つことができます。

ライセンスは機能別に分類されています。

- ・ **Meetings** : これは、Call Bridge およびユーザーライセンスのアクティベーションで構成されます。適切なライセンスがある場合、Call Bridge を使用できます。
- ・ **録画またはストリーミング (Recording or streaming)** : このライセンスでは、録音またはストリーミングを許可します。
- ・ **カスタマイズ (Customization)** : このライセンスではカスタマイズされたレイアウトを許可します。

Meetings と録画またはストリーミングのライセンス ステータス レベルは次のとおりです。

- ・ **ライセンスなし (Unlicensed)** : 録画またはストリーミング用のライセンスがありません。
- ・ **準拠 (In compliance)** : インストールされているライセンスの 80% 以下を使用しています。
- ・ **80% 以上のしきい値 (Over 80% threshold)** : ライセンス規約に準拠していますが、インストールされているライセンスの 80% 以上を使用しています。
- ・ **ライセンス不足 (Insufficient licenses)** : 過去 90 日間で、1 ~ 14 日間使用可能なライセンスを多く使用しています。
- ・ **コンプライアンス違反 (Out of compliance)** : 過去 90 日間で 15 日以上、使用可能なライセンス数を超えています。

注 : Meetings ライセンスが 90 日を超えて準拠していない場合、施行がアクティブ化され、会議の参加者は会議中に警告を表示および聞き取ります。管理者は、施行がアクティブかどうかを確認できます。

注 : 録画とストリーミングのライセンスが 90 日以上コンプライアンス違反になっている場合、コンプライアンスに準拠するまで会議を録画またはストリーミングすることはできません。

カスタマイズ (Customization) のライセンス ステータスのレベルは次のとおりです。

- ・ **ライセンス済み (Licensed)** : カスタマイズライセンスを所持しています。
- ・ **ライセンスなし (Unlicensed)** : カスタマイズライセンスがありません。
- ・ **コンプライアンス違反 (Out of compliance)** : カスタマイズライセンスを持っていないにもかかわらず、Meeting Management でカスタマイズをオンにしました。

注 : カスタマイズが 90 日以上準拠していない場合、準拠状態に戻るまで、カスタマイズされたレイアウトを使用することはできません。

ライセンスステータスの詳細については『[管理者向けユーザーガイド \(User Guide for Administrators\)](#)』を参照してください。購入したライセンスと使用されたライセンスの特定の詳細を知りたい場合は、Meeting Management の管理者にお問い合わせください。

アクセシビリティの注意事項

シスコは、利用しやすい製品およびテクノロジーの設計および提供に取り組んでいます。

Cisco Master Project の Voluntary Product Accessibility Template (VPAT) は、以下で入手可能です。

http://www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/legal_regulatory/vpats.html#telepresence

アクセシビリティの詳細については、以下を参照してください。

www.cisco.com/web/about/responsibility/accessibility/index.html

Cisco の法的情報

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任となります。

対象製品のソフトウェアライセンスと限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されており、この参照により本マニュアルに組み込まれるものとします。このソフトウェアライセンスまたは限定保証を見つけられない場合は、CISCO の代理店に連絡しコピーを入手してください。

Cisco が採用している TCP ヘッダー圧縮機能は、UNIX オペレーティング システムの UCB (University of California, Berkeley) のパブリック ドメイン バージョンとして、UCB が開発したプログラムを採用したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または黙示のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアルの中の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

この文書の印刷されたハード コピーおよび複製されたソフト コピーは、すべて管理対象外と見なされます。最新版については、現在のオンライン バージョンを参照してください。

シスコは世界各国 200 箇所にオフィスを開設しています。各オフィスの住所と電話番号は、当社の Web サイト www.cisco.com/go/offices をご覧ください。

© 2023 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco の商標

シスコおよびシスコロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。シスコの商標の一覧については、https://www.cisco.com/c/ja_jp/about/legal/trademarks.html をご覧ください。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1721R)